

# 話してパソコン入力 via the Web (Sokki Voice)

## 取扱説明書

サークルロード

2024 年 3 月 28 日

## 目次

1.	ソフトウェア概要	5
1-1.	ソフトウェア機能概要	5
1-2.	音声データの取り扱いおよびプライバシーについて	5
1-3.	ソフトウェアの動作環境	6
2.	ソフトウェアの使用方法	7
2-1.	zip ファイルの展開	7
2-2.	Sokki Voice.exe の起動	7
2-3.	ライセンスの認証および試用版における制限事項	9
2-4.	音声入力における条件設定	10
2-4-1.	入力後のキー	10
2-4-2.	英数字変換：半角⇔全角	10
2-4-3.	句読点削除	10
2-4-4.	ブラウザ	10
2-4-5.	句読点自動入力	10
2-4-6.	記号の音声入力	10
2-4-7.	デフォルト補正	11
2-4-8.	認識結果が数値の場合は漢数字を算用数字に変換する	11
2-4-9.	氏名の音声入力について	11
2-4-10.	詳細設定	12
2-4-10-1.	入力先アプリへの音声認識結果入力方法設定	12
2-4-10-1-1.	入力方法 1 の設定（音声入力時の IME 入力モードの切替）	12
2-4-10-1-2.	入力方法 2 の設定（クリップボードから貼り付け）	12
2-4-10-2.	Shift を押しながら音声入力する時は IME を ON にする	12
2-4-10-3.	数値の 3 桁ごとのカンマ区切り	13
2-4-10-4.	変換中ダイアログの設定	13
2-4-10-5.	音声認識 ON/OFF ウィンドウに関する設定	13
2-4-10-6.	音声認識 ON/OFF のショートカットキー設定	13
2-4-10-7.	音声認識の自動停止時間の設定	14
2-4-10-8.	メインウィンドウ等の表示サイズと表示位置	14
2-4-10-9.	音声認識がオンのまま認識する言語を変更可能にする	14
2-4-10-10.	音声認識画面との接続で優先するポート	15
2-4-10-11.	音声による Enter キーの操作（エミュレート）の許可	15
2-4-10-12.	英字と数字の間のスペースを除去する	16
2-4-10-13.	英文入力時に末尾がアルファベット場合は半角スペースを追加	16
2-4-10-14.	音声で Enter キーを操作する場合はスキャンコードを使用する	16

2-4-10-15. 同時押しを除く連続したキー操作時のキー間の最小待ち時間	16
2-4-10-16. 音声認識結果を確定させるためのタイマー	16
2-4-10-17. 音声で音声認識を開始するための付属ツールとのメモリ共有	17
2-4-10-18. Ctrl を押している最中は音声入力等のアクションをしない	17
2-4-10-19. 音声認識の ON/OFF の変更を音で通知する	17
2-4-11. 詳細設定のその他オプション	17
2-4-11-1. メインウィンドウを通知領域に格納する機能を有効にする	17
2-4-11-2. アプリ起動時に「Tool for Sokki Voice」を起動する	18
2-5. 音声認識画面を開く	19
2-5-1. Sokki Voice.exe のメイン画面から開く場合	19
2-5-2. 音声認識 ON/OFF ウィンドウから開く場合	19
2-5-3. ショートカットキーで音声認識画面を開く場合	19
2-5-4. ソフトの起動時に音声認識画面を開く場合	19
2-6. 音声認識の開始および停止	20
2-6-1. 音声認識画面からの音声認識の開始および停止	20
2-6-2. 音声認識 ON/OFF ウィンドウからの音声認識の開始および停止	20
2-6-2-1. 「[Ctrl]+[Windows]を押下で入力」にチェックした場合	21
2-6-3. 通知領域のアイコンからの音声認識の開始および停止	21
2-6-4. ショートカットキーによる音声認識の開始および停止	21
2-7. 音声入力をする	22
2-7-1. 音声認識結果を入力する	22
2-7-2. 文書を修正する時	22
2-7-3. 文書作成以外の便利な利用方法	23
2-8. 通知領域のアイコンのメニューと表示/非表示の切り替え	24
2-8-1. 通知領域のアイコンのメニューと機能	24
2-8-2. 通知領域のアイコンの表示/非表示の切り替え	24
2-9. 補正機能について	25
2-9-1. 使用する補正テーブルを選択する	25
2-9-2. 補正テーブルを確認または編集する	25
2-9-2-1. 補正テーブルの設定例	25
2-9-2-2. 選択した行の操作	26
2-9-2-3. 行番号を指定して行を選択する	27
2-9-3. 新規補正テーブルの作成	27
2-9-4. 補正テーブルの削除	27
2-10. 音声コマンドについて	28
2-10-1. 音声コマンドの編集	28
2-10-2. 音声コマンドの実行	30
2-10-3. 音声コマンド拡張設定の利用方法・設定画面の開き方	31

2-10-4. 拡張設定の編集方法（実行内容をリストから選択する場合）	31
2-10-5. 実行する内容を削除する場合	31
2-10-6. 拡張設定の編集方法（カスタム設定）	32
2-10-7. キーをひとつずつ削除する方法	32
2-10-8. 回数指定型コマンドの使用方法	33
2-10-8-1. 回数指定型コマンドの誤認識対策	33
2-10-9. 回数指定型 カスタム設定	33
2-11. キーワード入力について	34
2-11-1. キーワード入力の編集	34
2-11-2. キーワード入力の実行	35
2-11-3. キーワード入力拡張設定	36
2-12. 音声認識結果のログ機能	37
2-12-1. 認識結果のログをコピー	37
2-12-2. 認識結果のログをクリア	37
2-13. 表示メニューの操作方法	38
2-14. 音声認識画面と Sokki Voice.exe の接続が途切れた場合	39
2-15. 通知領域に格納（メインウィンドウを非表示にする）	40
3. 旧バージョンからのアップデート方法	41
3-1. 今まで使用していたユーザー設定の移行	41
3-2. 補正テーブルのファイルの差し替え	43
3-3. 音声コマンド、キーワード入力（音声キー）のファイルの差し替え	43
3-4. 氏名入力の設定ファイルの差し替え	44
4. マイクの設定	45
4-1. 使用するマイクの設定	45
4-2. アプリがマイクへアクセスすることを許可する	46
4-3. ブラウザのマイク設定	48
5. アンインストールについて	49
6. トラブル時の対応について	49
6-1. トラブル時の対応一覧	49
6-2. 本ソフトウェアのフォルダまたはファイルを削除した時	51
6-3. 予測入力機能に対する対応	51
6-4. 補正テーブル、音声コマンド、キーワード入力の書式が崩れた時	51
7. サポート・問い合わせ先	52

7-1. オンラインサポート .....	52
7-2. 問い合わせ先 .....	52

※本取扱説明書におけるマイクロソフトの著作物のスクリーンショットはマイクロソフトのウェブサイトにある「マイクロソフトの著作物の使用について」に従いマイクロソフトの許諾を得て使用しています。

※Windows の設定やブラウザの設定に関してはバージョン等によっては本取扱説明書に記載した設定方法と異なる可能性があります。オンラインマニュアルは随時更新しますので、必要に応じてオンラインマニュアルをご確認ください。

## 1. ソフトウェア概要

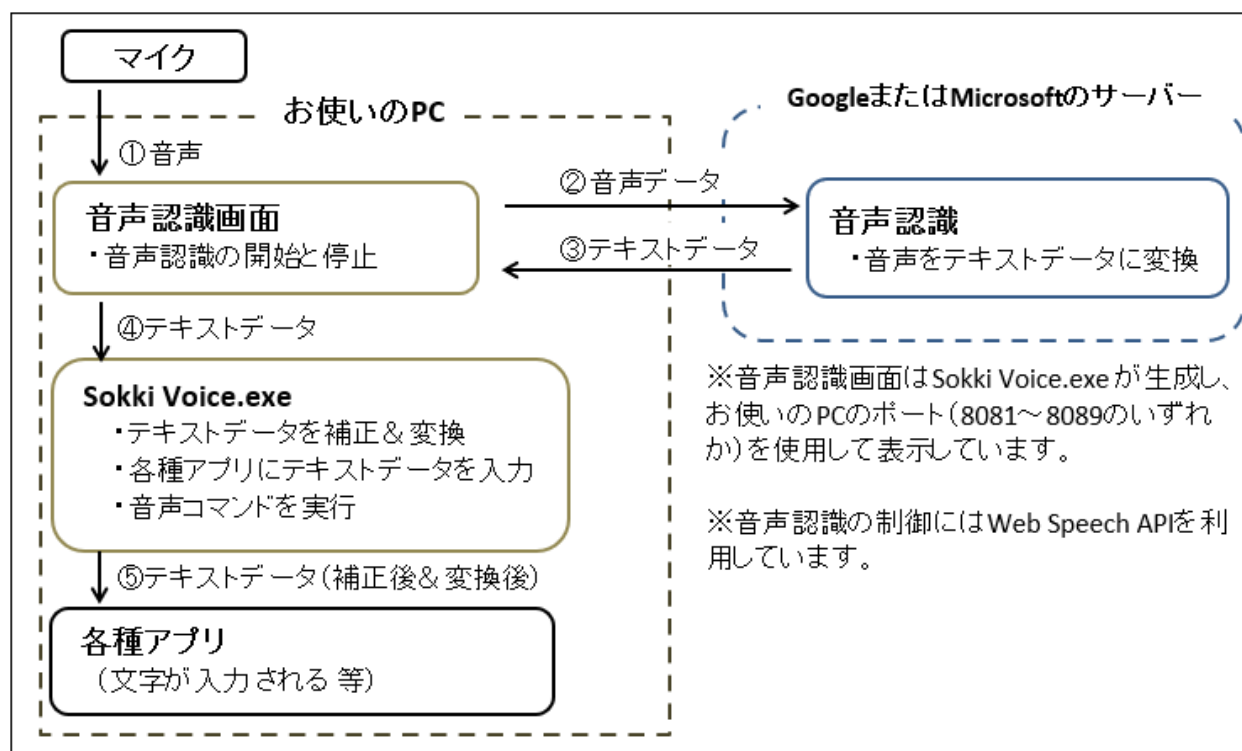
### 1-1. ソフトウェア機能概要

ソフトウェアの主な機能：

- ①入力先アプリへ直接音声入力する機能
- ②キーワードで「登録した語句」を音声入力する機能
- ③指定したファイル、フォルダ、ウェブサイトを音声で開く機能
- ④Ctrl + C 等のショートカットキーを音声で操作する機能

音声認識には Web Speech API を利用しています。またブラウザには Google Chrome または Microsoft Edge を使用します。音声認識できる言語は日本語および英語（US）になります。

#### [ソフトウェア構成]



### 1-2. 音声データの取り扱いおよびプライバシーについて

本ソフトウェアにおける音声認識は Google または Microsoft のサーバーで行われます。音声認識をする際の音声データの取り扱いは使用するブラウザで異なります。詳細は下記のリンクからご確認ください。

リンク：[音声認識における音声データの取り扱いおよびプライバシーについて](#)

※Google Chrome を使用する場合は機密情報を音声認識させることはおやめ下さい。

### 1-3. ソフトウェアの動作環境

- ① マイクが利用できる PC であること  
ヘッドセットなどの口元付近で使用するマイクの方が認識精度は良くなります。
- ② OS : 日本語版の Windows 10 ( .NET Framework 4.7 以降のバージョン )  
日本語版の Windows 11
- ③ インターネットに接続されていること
- ④ Google Chrome または Microsoft Edge ( Chromium 版 ) が使用できること。  
上記のブラウザは下記の URL のウェブサイトからダウンロードできます。
  - ・ Google Chrome : <https://www.google.com/chrome/>
  - ・ Microsoft Edge : <https://www.microsoft.com/ja-jp/edge>

※職場や学校などの機能が制限されている PC や、Windows に標準で搭載されているライブラリや API が使用できない PC では本ソフトウェアが動作しない可能性があります。

※本ソフトウェアを起動中は IIS や Apache 等の Web サーバーソフトが動作しない可能性があります。

※IIS や Apache 等の Web サーバーソフトを起動中は本ソフトウェアが動作しない可能性があります。

## 2. ソフトウェアの使用方法

### 2-1. zip ファイルの展開

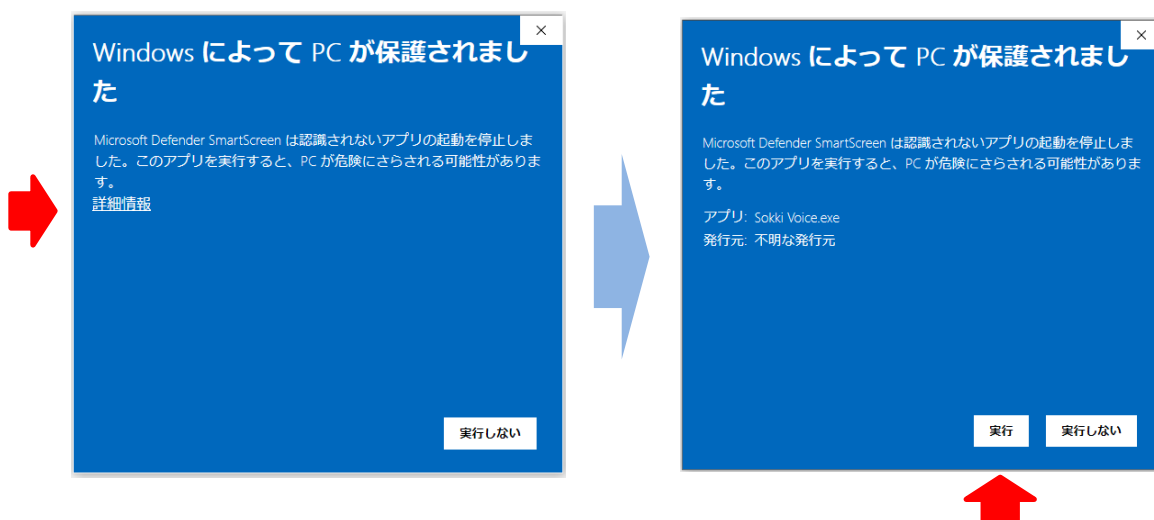
- ①ダウンロードなどで取得した zip ファイルを展開し「Sokki\_Voice」フォルダを、お使いの PC の好きなフォルダに保存してください。

※ベクターからダウンロードした zip ファイルについては、ベクター にてウィルスチェック済みです。

※「Sokki\_Voice」フォルダ内のファイルとフォルダの名前とフォルダ構成は変更しないでください（本取扱説明書内で指定している方法での変更は除きます）。

### 2-2. Sokki Voice.exe の起動

- ①「Sokki\_Voice」フォルダ内の Sokki Voice.exe をダブルクリックして下さい。
- ②下図の画面が現れた場合は、詳細情報をクリックすると[実行]ボタンがあらわれるので[実行]ボタンをクリックして下さい。



以降の中で「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と聞かれた場合は許可してください。

また以降の操作でセキュリティソフトなどに本ソフトウェアの動作がブロックされた場合は本ソフトウェアの動作を許可してください。

※上の画面で[実行]ボタンを表示できない場合は、タスクバーの[スタート]→[Windows セキュリティ]→[アプリとブラウザー コントロール]の[アプリとファイルの確認]の項目を「ブロック」から「警告」に変更してください。



## ③本ソフトウェアを利用するには利用規約への同意手続きが必要です。

話してパソコン入力 via the Web の利用規約をお読み下さい。

音声認識はGoogleまたはMicrosoftのサーバー上で行われます。音声データの取り扱いおよびプライバシーについては下のリンクからご確認ください。

[音声データの取り扱いおよびプライバシーについて確認する](#)

生じた損害については一切責任を負いません。

7. 本ソフトウェアの利用に関して作者が損害賠償責任を負う場合、作者が当該利用者から受領した利用額を限度として賠償責任を負うものとします。

第8条：本ソフトウェアのサポートの廃止  
 作者は、本ソフトウェアの提供を廃止した後に、本ソフトウェアに対するサポートを廃止することがあります。本ソフトウェアのサポートの廃止によって利用者が発生した損害について、作者は一切責任を負いません。

第9条：規約の変更  
 1. 作者は以下の場合には利用者の承諾を得ることなく本規約の内容を改訂することができるものとします。  
 (イ) 本規約の変更が利用者の一般の利益に適合する時。  
 (ロ) 本規約の変更が、契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、および変更の内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものである時。  
 2. 作者は前項により本規約を変更するにあたり、変更後の利用規約の効力発生日の1か月前までに、本規約を変更する旨および変更後の利用規約の内容とその効力発生日を作者のウェブサイト（URL：https://circle-road.com）から閲覧できるようにします。  
 3. 変更後の利用規約の効力発生日以降に利用者が本ソフトウェアを利用したときは、当該利用者が変更後の利用規約に同意したものとみなします。

第10条：分離可能性  
 本規約のいずれかの条項またはその一部が、消費者契約法その他の法令等により無効または執行不能と判断された場合であっても、本規約の残りの規定および一部が無効または執行不能と判断された規定の残りの部分は、継続して完全に効力を有するものとします。

第11条：準拠法、裁判管轄  
 1. 本規約の効力、解釈および履行については、日本法に準拠し、日本法に従って解釈されるものとする。  
 2. 作者と利用者などとの間で論議・訴訟その他の紛争については訴訟に応じて、作者居住の地域を管轄する地方裁判所を合意管轄裁判所とします。

2021年6月14日 改定  
 2021年7月15日 発効

☒ 話してパソコン入力 via the Web の利用規約に同意する。

次へ進む 閉じる

※複数のユーザーアカウントで利用する場合はユーザーアカウント毎に同意手続きをする必要があります。

④ [次へ]をクリックすると Sokki Voice.exe へのショートカットを作成します。  
 デスクトップ以外にショートカットを作成する場合は[参照]ボタンから場所を指定することができます。

話してパソコン入力 via the Web の実行ファイルSokki Voice.exeへのショートカットを作成します。

ショートカットを作成する場所

C:\¥Users¥ABC¥OneDrive¥デスクトップ

参照

次へ



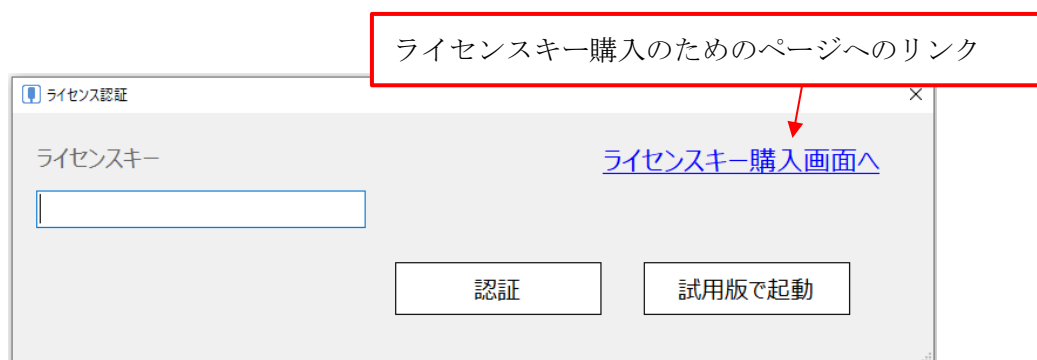
← Sokki Voice.exe へのショートカットのアイコン

※次回以降は上記ショートカットからソフトを起動できます。

※ソフトをアップデートした場合は今まで使用していた「補正テーブル」、「音声コマンド」、「キーワード入力（音声キー）」の設定を引き続き利用できるようにダイアログにて設定の移行を誘導します（すでに移行が完了している場合は除きます）。

## 2-3. ライセンスの認証および試用版における制限事項

※旧バージョン等で既にライセンス認証を行っている場合は不要です。



### ・試用版でソフトウェアを起動する場合

[試用版で起動]をクリックしてください。

初回起動日から 30 日間すべての機能を利用することができます。

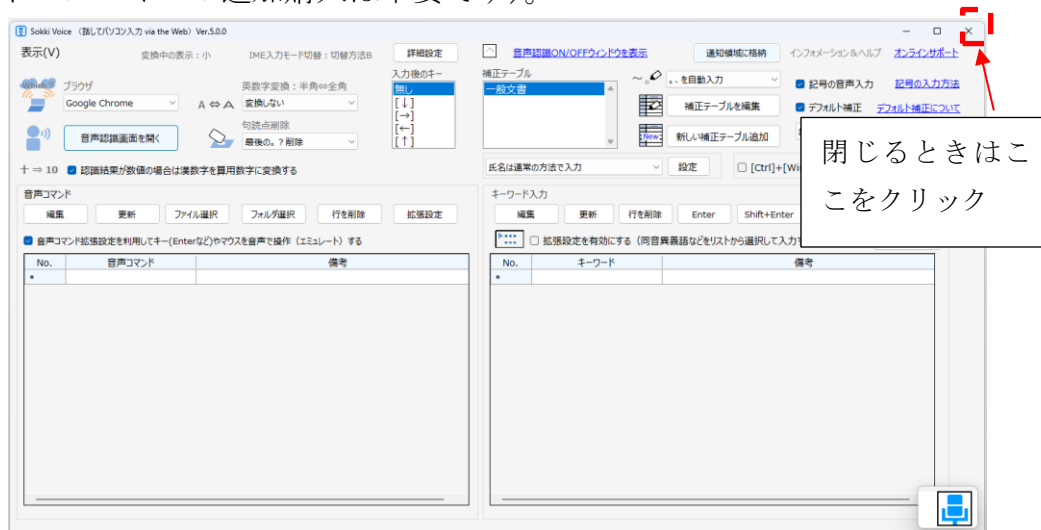
### 制限事項

- ・ソフトを起動するたびにライセンス認証画面が表示されます。
- ・初回起動日から 30 日経過すると試用版のソフトは使用できなくなります。

### ・ライセンス認証版のソフトウェアを起動する場合

ライセンスキーを入力したあと[認証]ボタンをクリックして下さい。

※複数のユーザーアカウントで利用する場合はユーザーアカウントごとのライセンス認証が必要になります（同一の PC で本ソフトウェアを使用する場合はライセンスキーの追加購入は不要です）。



Sokki Voice.exe の画面

## 2-4. 音声入力における条件設定

### 2-4-1. 入力後のキー

- ・無し：音声入力後に矢印キーは操作されません。  
テキストエディタに文書を音声入力する時などにご利用ください。
- ・[↓]、[→]、[←]、[↑]：音声入力後に選択した矢印キーが操作されます。  
表に音声入力する時などにご利用ください。  
※IME や入力先アプリの予測入力機能の影響をうける場合は「6-3. 予測入力機能に対する対応」を参照してください。  
※キーボード操作関係のソフトなどで矢印キーに異なるキーを割り当てている場合はその影響を受ける可能性があります。

### 2-4-2. 英数字変換：半角⇄全角



英数字を半角または全角に変換して音声入力します。全角への変換は縦書きの文書を作成する時などにご利用ください。

### 2-4-3. 句読点削除



音声認識結果の中の句読点や「？」を削除します。「句読点自動入力」、「補正機能」「記号の音声入力」を利用して入力する句読点や「？」は削除しません。

### 2-4-4. ブラウザ



音声認識画面を開くブラウザを選択してください。

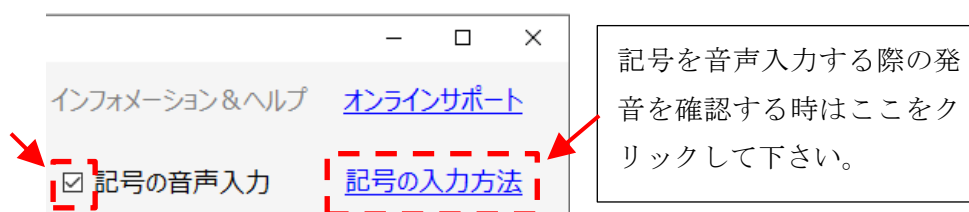
### 2-4-5. 句読点自動入力



「～です」などの丁寧語の語尾に句点（。）を入力する等、句読点を自動入力できます。自動入力された句読点は「2-4-3. 句読点削除」では削除しません。

### 2-4-6. 記号の音声入力

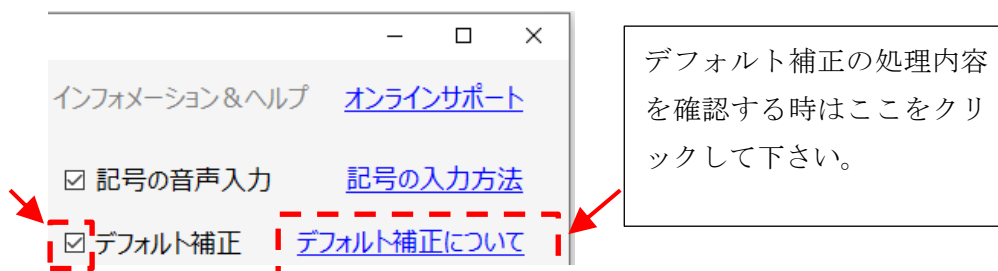
下図のチェックを入れると「」や句読点を音声で入力できます。



※Web Speech API の音声認識は同一の発音に対して認識結果が変わる場合があります。音声認識結果が変わる等で上記の「記号の入力方法」で入力出来なくなった記号については補正テーブルを利用して音声入力をしてください。

### 2-4-7. デフォルト補正

下図のチェックを入れると、音声認識結果に対して **Sokki Voice** であらかじめ設定されている補正処理を行います。



### 2-4-8. 認識結果が数値の場合は漢数字を算用数字に変換する

下記のチェックを入れると漢数字を算用数字に変換することが出来ます。

**十 ⇒ 10** ☒ 認識結果が数値の場合は漢数字を算用数字に変換する

### 2-4-9. 氏名の音声入力について

氏名を入力する際に、設定されている苗字や下の名前に対してリストから選択して入力したり、平仮名で入力したりカタカナで入力したりできます。

下記の[設定]ボタンから氏名入力の設定画面を開けます。



- ・氏名のデフォルトリストを使用する：
  - 予め設定済みの苗字と名前のリストが有効になります。
- ・デフォルトリストの検索：
  - 予め設定済みの苗字と名前を検索できます。
- ・苗字ユーザー設定、名前ユーザー設定：
  - 一覧表の編集方法は補正テーブルの編集と同様になります。
  - この機能がうまく実行できない時は、実際に入力される内容を苗字、名前に設定して下さい。

## 2-4-10. 詳細設定



## 2-4-10-1. 入力先アプリへの音声認識結果入力方法設定

「入力方法 1：キーボードインターフェースで入力」を推奨します。  
 ただし入力先アプリと使用する IME ソフトの組み合わせ等によっては  
 入力方法 1 でうまく入力できない場合があります。その場合は、  
 「入力方法 2：クリップボードから貼り付け」を選択してください。

## 2-4-10-1-1. 入力方法 1 の設定（音声入力時の IME 入力モードの切替）

- ・ Microsoft IME を使用する場合は、  
 「音声入力時：直接入力⇒音声入力後：元のモード（切替方法 A）」  
 を選択することを推奨します。

- ・ 入力モードがうまく元に戻らない時は、  
 「音声入力時：直接入力⇒音声入力後：元のモード（切替方法 B）」  
 を選択してみてください。

※詳細はオンラインマニュアルをご確認ください。

※「切替方法 A」と「切替方法 B」いずれの場合も入力モードが切り替わらない場合は、「Google 日本語入力」または「Microsoft IME」を使用してください。

## 2-4-10-1-2. 入力方法 2 の設定（クリップボードから貼り付け）

音声入力後のクリップボードの状態などについて設定することができます。

## 2-4-10-2. Shift を押しながら音声入力する時は IME を ON にする

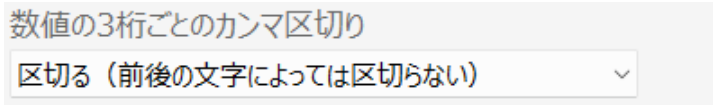
下の図のチェックを入れた状態で、Shift キーを押しながら音声入力をすると IME が ON の状態で音声入力できます。

ATOK 等の一部の IME で音声認識結果を再変換することが出来ます。

☒ Shiftを押しながら音声入力する時はIMEをONにする

## 2-4-10-3. 数値の3桁ごとのカンマ区切り

数値に対する3桁ごとのカンマ区切りをすることができます。



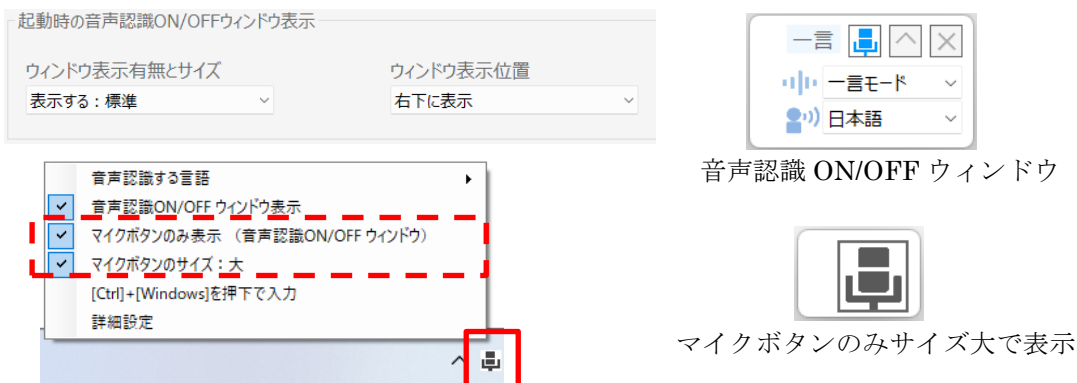
## 2-4-10-4. 変換中ダイアログの設定

音声テキストに変換している最中に表示するダイアログの表示の有無、サイズ、表示位置を設定できます。



## 2-4-10-5. 音声認識 ON/OFF ウィンドウに関する設定

Sokki Voice.exe を起動した時の音声認識 ON/OFF ウィンドウの表示の有無とサイズ、表示する位置を設定できます。



音声認識 ON/OFF ウィンドウのマイクのボタンサイズなど通知領域のアイコンを右クリックすることで設定変更できる項目もあります。

## 2-4-10-6. 音声認識 ON/OFF のショートカットキー設定

下の図で選択したショートカットキーで音声認識の ON/OFF を切り替えることができます。



ショートカットキーを利用しない場合

Ver.4.2.4 以前の方法でショートカットキーを検出する場合は下のチェックを入れてください。

☒ 以前の方法で音声認識ON/OFF切替などのショートカットキーが押された事を検出する（互換性）

#### 2-4-10-7. 音声認識の自動停止時間の設定

設定した時間のあいだ音声認識がされない状態が続いた時に音声認識を自動で停止します。

音声の検出がない場合の音声認識自動停止までの時間

20分

#### 2-4-10-8. メインウィンドウ等の表示サイズと表示位置

チェックを入れると Sokki Voice のメインウィンドウと補正テーブルと音声コマンド拡張設定のウィンドウサイズとウィンドウ位置を最後に使用した時と同じにできます。

☒ Sokki Voiceのメインウィンドウと補正テーブルと音声コマンドは最後に表示したサイズと位置で表示する

#### 2-4-10-9. 音声認識がオンのまま認識する言語を変更可能にする

チェックを入れると音声認識がオンのまま認識する言語の設定変更が可能になります。

☒ 音声認識がONのまま認識する言語の設定変更を可能にする



チェックあり



チェックなし

※音声認識画面（ブラウザ）と通知領域のアイコンの右クリックのメニューからは上図のチェックを入れなくても音声認識がオンのまま認識する言語の設定を変更することができます。



## 2-4-10-10. 音声認識画面との接続で優先するポート

本ソフトは 8081 ポートから 8089 ポートの中で空いているポートを使用して音声認識画面と Sokki Voice.exe を接続します。

その際に、Sokki Voice と他のアプリで使用するポートがかぶらないようにするために優先的に使用するポートを選択することができます。

音声認識画面との接続で優先するポート（Sokki Voice.exe次回起動時から有効になります）

8081 ☐ 優先するポートが他アプリに使用されてる時は優先するポートを自動変更する

※8083 ポートを選択した場合は、「8083」→「8084」→「8085」→「8086」→「8087」→「8088」→「8089」→「8081」→「8082」の順番でポートが使用できるか確認し最初に見つかった使用できるポートで音声認識画面と接続します。

## 2-4-10-11. 音声による Enter キーの操作（エミュレート）の許可

下図の詳細設定画面のチェックを入れると、補正機能またキーワード入力を利用した音声による Enter キーの操作（エミュレート）が可能になります。

☒ 補正テーブルおよびキーワード入力を利用した「音声によるEnterキーの操作（エミュレート）」を許可する

補正テーブルおよびキーワード入力の下図のボタンから設定できます。

Enter

Shift+Enter

※Enter キーのエミュレートでボタン等の操作も可能になります。エンターキーが誤認識などによって誤ってエミュレートされないようにご注意ください。

## (ア) 補正テーブルを利用して Enter キーを操作する場合の設定例

No.	補正前	補正後	備考
1	改行	{Shift+Enter}	Shiftを押しながらEnterをエミュレート
2	次の段落	{Enter}	Enterをエミュレート

※上記設定の場合「改行する」という認識結果に対しては、「Shift を押しながら Enter」を操作（エミュレート）した後に「する」と音声入力します。

※あまり良くない設定例：

補正前を「エンター」、補正後を「{Enter}」に設定した場合は「エンターテインメント」という認識結果は「{Enter}テインメント」に補正されて Enter キーが操作（エミュレート）されます。

Enter キーを操作するための補正前の項目には Enter キーの操作（エミュレート） 以外で音声認識させない言葉を設定して下さい。



(イ) キーワード入力を利用してエンターキーを操作する場合の設定例

No.	キーワード	入力する内容	備考
1	エンター	{Enter}	Enterをエミュレート

※キーワード入力で上記の設定をした場合、認識結果が「エンター」の場合はエンターキーが操作（エミュレート）されますが、エンターテインメントという認識結果に対しては、Enter キーは操作（エミュレート）されません。

※音声による Enter キーの操作を許可しない場合は、補正テーブルやキーワード入力で{Enter}を設定しても Enter キーは操作（エミュレート）されずに、文字で{Enter}と入力されます。{Shift+Enter}についても同様です。

#### 2-4-10-12.英字と数字の間のスペースを除去する

下記のチェックを入れると英字と数字の間のスペースを除去して音声入力します。

☒ 英字と数字の間のスペースを除去する

#### 2-4-10-13. 英文入力時に末尾がアルファベット場合は半角スペースを追加

下記のチェックを入れると英語の音声認識時に最後がアルファベットで終わる場合は半角スペースを末尾に追加します。

☒ 英文の音声入力時に最後の文字がアルファベットの場合は末尾に半角スペースを追加する

#### 2-4-10-14. 音声で Enter キーを操作する場合はスキャンコードを使用する

音声による Enter キーの操作と実際のキーボードの Enter キーの操作で違いがあって支障をきたす場合は下記のチェックを入れてみてください。

☒ 音声でEnterキーを操作（エミュレート）する場合はスキャンコードを使用する

#### 2-4-10-15. 同時押しを除く連続したキー操作時のキー間の最小待ち時間

音声による Back Space キーなどの操作で、指定した回数処理が実行されない場合は下の設定項目で待ち時間を設定してみてください。

同時押しを除く連続したキー操作時のキー間の最小待ち時間

0秒（待ち時間無し）

#### 2-4-10-16. 音声認識結果を確定させるためのタイマー

音声認識に時間がかかる時のためのタイマーをオン・オフできます。

☒ 音声認識結果を確定するためのタイマーをONにする（推奨：ON）

- 2-4-10-17. 音声で音声認識を開始するための付属ツールとのメモリ共有  
下記のチェックを入れると Tool for Sokki Voice (Ver.2.0 以降)とメモリを共有します。

☒ 音声で音声認識を開始するためにSokki Voiceの付属ツールとメモリを共有する

- 2-4-10-18. Ctrl を押している最中は音声入力等のアクションをしない  
下記のチェックを入れると Ctrl キーを押している最中はアクションをしません。

☒ Ctrlキーを押している最中は音声入力や音声コマンドなどのアクションをしない

- 2-4-10-19. 音声認識の ON/OFF の変更を音で通知する  
下記のチェックを入れると、音声認識の ON/OFF が切り替わった事を音で通知します。

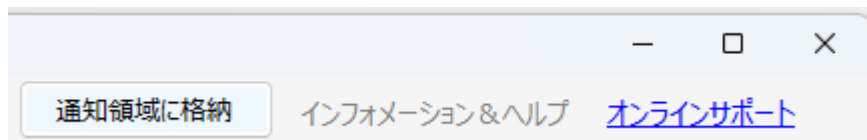
☒ 音声認識のON/OFFの変更を音で通知する

## 2-4-11. 詳細設定のその他オプション

- 2-4-11-1.メインウィンドウを通知領域に格納する機能を有効にする

☒ メインウィンドウを通知領域（タスクトレイ）に格納する機能を有効にする

上記のチェックボックスにチェックを入れるとメインウィンドウにある  
[通知領域に格納]ボタンを操作できるようになります。

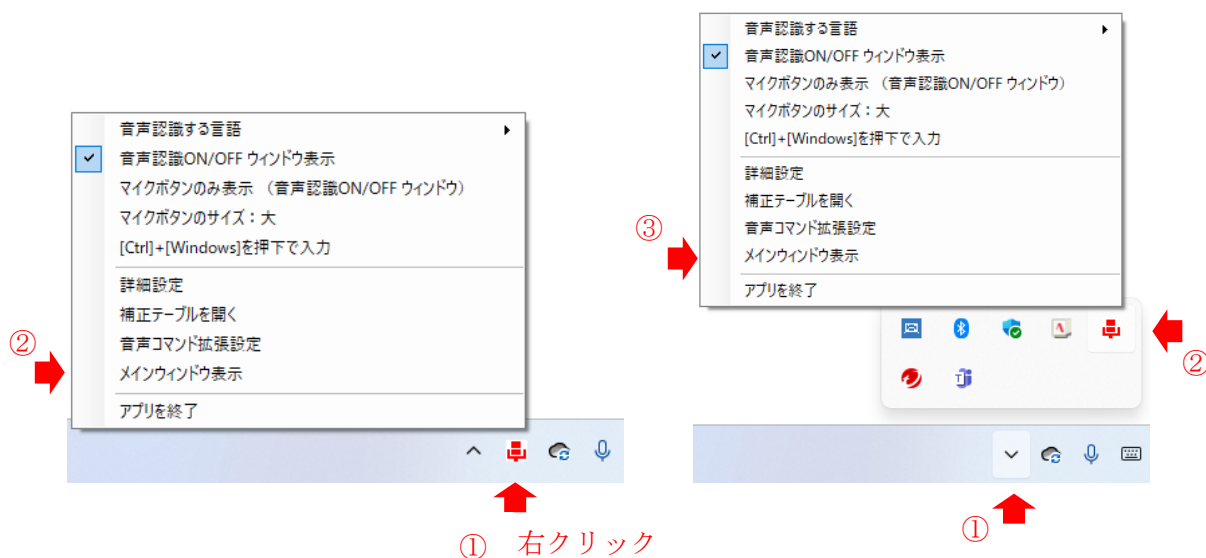


[通知領域に格納]をクリックするとメインウィンドウが非表示になります。また  
タスクバーに表示される下記のアイコンも非表示になります。



アイコンも非表示になる

メインウィンドウは通知領域の下記のアイコンの右クリックのメニューから表示することができます。



#### 2-4-11-2. アプリ起動時に「Tool for Sokki Voice」を起動する

下記のチェックボックスにチェックを入れて、「Tool\_forSokkiVoice.exe」のパスを設定すると Sokki Voice.exe を起動した時に Tool for Sokki Voice（別途ダウンロードが必要）を起動することができます。

☒ アプリ起動時に「Tool for Sokki Voice」を起動する

Tool\_forSokkiVoice.exeのパス

C:\Users\kashi\OneDrive\デスクトップ\Tool\_for\_SokkiVoice\Tool\_forSokkiVoice.exe

参照

※Tool for Sokki は Sokki Voice の無料の付属ツールで、音声で音声認識を開始するためのツールになります。

## 2-5. 音声認識画面を開く

### 2-5-1. Sokki Voice.exe のメイン画面から開く場合

下図の[音声認識画面を開く]ボタンをクリックしてください。

※Sokki Voice.exe の画面は最小化されます。



Sokki Voice.exe を表示したい時は上図のアイコンをクリックしてください。

### 2-5-2. 音声認識 ON/OFF ウィンドウから開く場合

音声認識のモードと音声認識する言語を選択して下図（左）のボタンをクリックしてください。音声認識画面を開いて音声認識を開始します。



音声認識画面が開かれていない状態

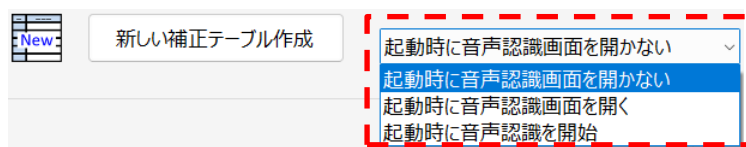
一言モードで音声認識中

### 2-5-3. ショートカットキーで音声認識画面を開く場合

詳細設定画面で設定した音声認識 ON/OFF 切替のショートカットキーで音声認識画面を開いて音声認識を開始することができます。

### 2-5-4. ソフトの起動時に音声認識画面を開く場合

下図の設定でソフトの起動時に自動で音声認識画面を開くこと、または音声認識を開始することができます。



## 2-6. 音声認識の開始および停止

### 2-6-1. 音声認識画面からの音声認識の開始および停止

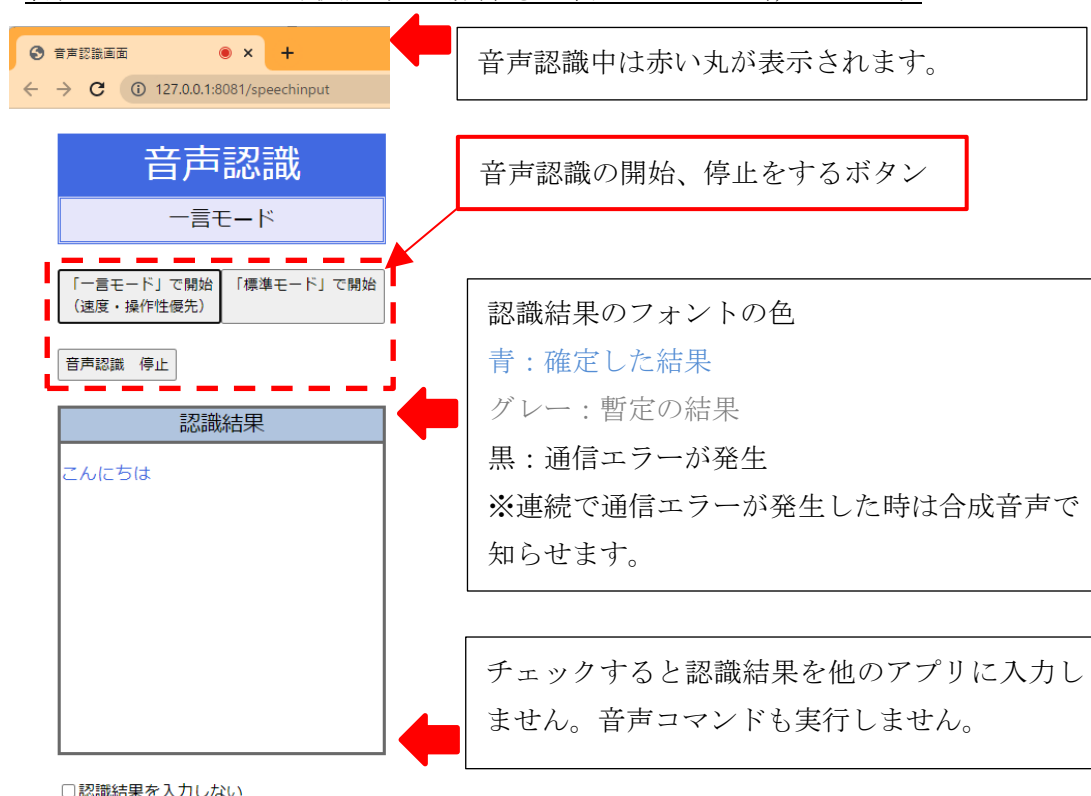
下図のボタンをクリックして音声認識を開始および停止できます。

- ・一言ずつ音声入力する場合：一言モード
- ・ある程度長い言葉を一回の音声認識で入力する場合：標準モード

※「マイクの使用を許可するか」聞かれた場合は許可してください。

※Google Chrome では一言モードの方がテンポよく音声入力できます。

音声コマンドをよく使用する場合も一言モードをお勧めします



音声認識中は赤い丸が表示されます。

音声認識の開始、停止をするボタン

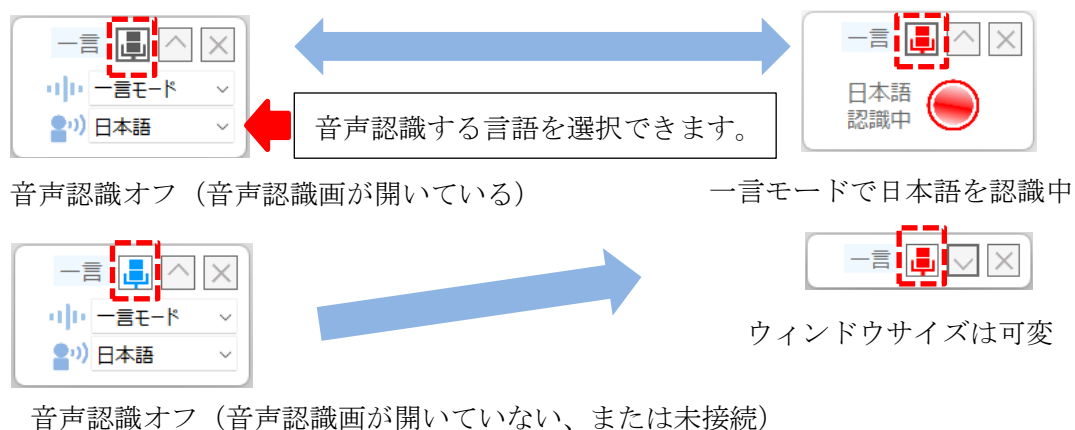
認識結果のフォントの色  
 青：確定した結果  
 グレー：暫定の結果  
 黒：通信エラーが発生  
 ※連続で通信エラーが発生した時は合成音声で知らせます。

チェックすると認識結果を他のアプリに入力しません。音声コマンドも実行しません。

☐ 認識結果を入力しない

### 2-6-2. 音声認識 ON/OFF ウィンドウからの音声認識の開始および停止

マイクのアイコンをクリックしてください。



音声認識する言語を選択できます。

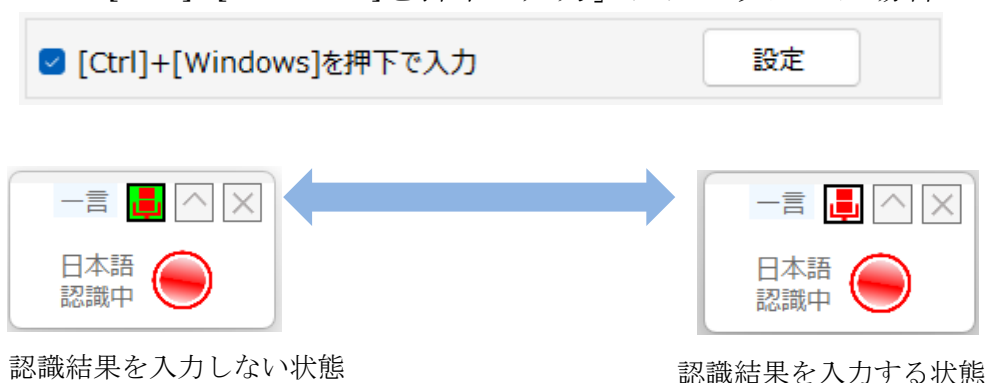
音声認識オフ（音声認識画が開いている）

一言モードで日本語を認識中

ウィンドウサイズは可変

音声認識オフ（音声認識画が開いていない、または未接続）

### 2-6-2-1. 「[Ctrl]+[Windows]を押下で入力」にチェックした場合



左図：[Ctrl]+[Windows]を押下する前（認識結果を入力しない状態）

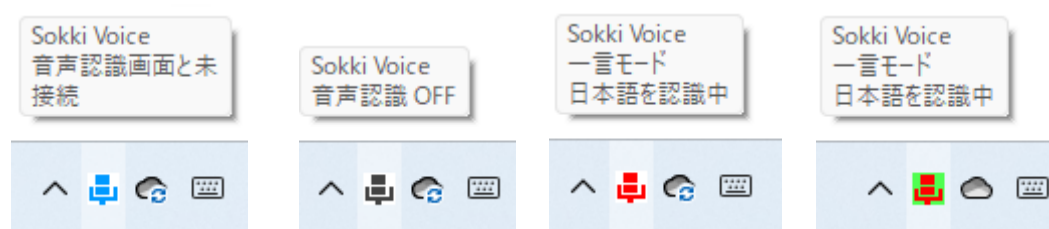
右図：[Ctrl]+[Windows]を押下した後（認識結果を入力する状態）

※上図の[設定]ボタンから音声コマンド、キーワード入力、リストから入力（氏名入力等）に関しては、上記のチェックを入れた場合も [Ctrl]+[Windows]を押さなくても実行できるように設定できます。

### 2-6-3. 通知領域のアイコンからの音声認識の開始および停止

通知領域（タスクバー）のマイクのアイコンをクリックして音声認識の ON/OFF を切り替えることができます。

- ・青いマイクを左クリック：音声認識画面を開いて音声認識を開始します。
- ・黒いマイクを左クリック：音声認識を開始します。
- ・赤いマイクを左クリック：音声認識を停止します。



※一番右の図は「[Ctrl]+[Windows]を押下で入力」にチェックがある時

### 2-6-4. ショートカットキーによる音声認識の開始および停止

詳細設定画面で設定したショートカットキーから音声認識の ON/OFF を切り替えることができます。



ショートカットキーを利用しない場合




## 2-7. 音声入力をする

### 2-7-1. 音声認識結果を入力する

- ①入力する場所にカーソルを合わせてください。
- ②音声認識中に入力する内容をマイクに話します。

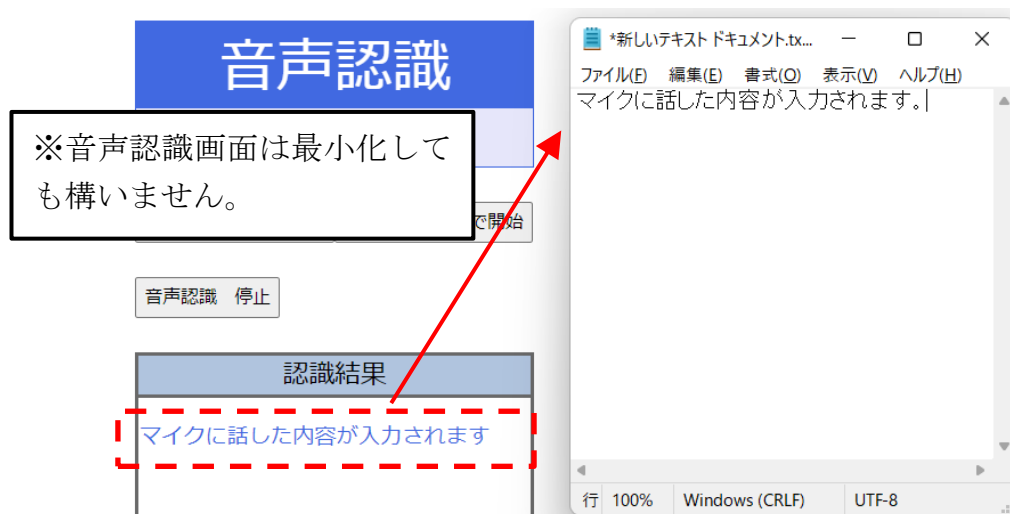
「[Ctrl]+[Windows]を押下で入力」は会話と音声入力を使い分ける時などにご利用ください。



- ・上図のチェック無：入力する内容をマイクに話してください。
- ・上図のチェック有：入力毎にキーボードの[Ctrl]+  [Windows] を押してから入力する内容をマイクに話してください。
- ※マイクに話している最中に[Ctrl]+  [Windows] を押した場合も音声入力できます。
- ※キーボードの  [Windows] +[J]を押すことで認識結果の入力をオフにできます。

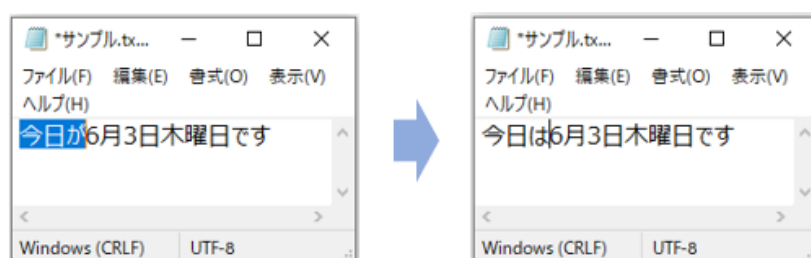
※音声認識結果が入力されない場合は、入力する場所をマウスで左クリックしてから再度音声入力を試してください。

※キーボード入力と音声入力の併用も可能です。



### 2-7-2. 文書を修正する時

修正したい部分を選択して音声入力してください。



## 2-7-3. 文書作成以外の便利な利用方法

## (i) ファイルの検索

検索ボックスにカーソルを合わせて検索したい内容を音声入力して下さい。

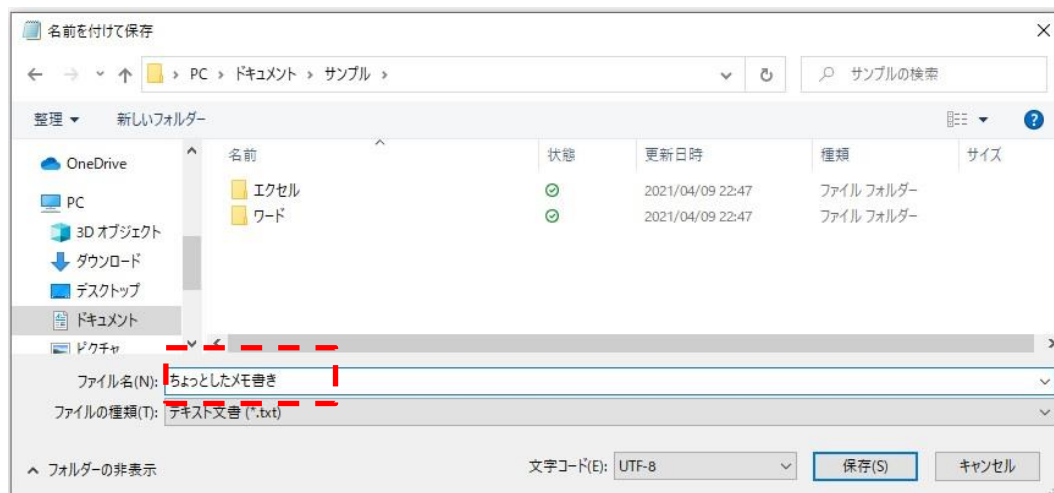


## (ii) 文書内の文字検索

- ① [Ctrl] + [F]などで検索ダイアログ等を表示してください。
- ② 検索したい文字を音声入力して下さい。

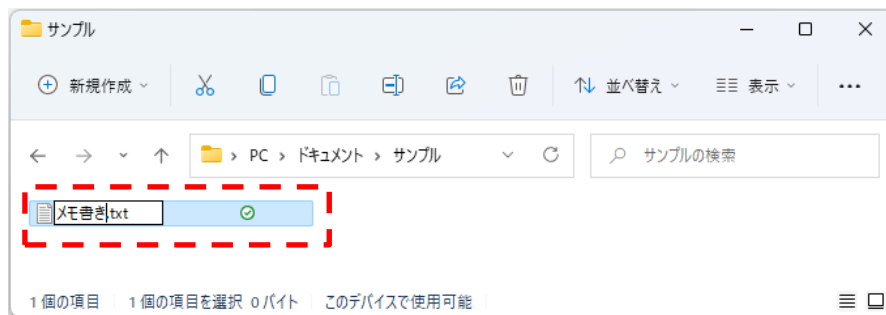
## (iii) ファイルやフォルダの名前をつける

ファイル名やフォルダ名を音声入力でつけることも可能です。



## (iv) ファイル名の変更

ファイル名を変更するときにも音声入力を利用できます。

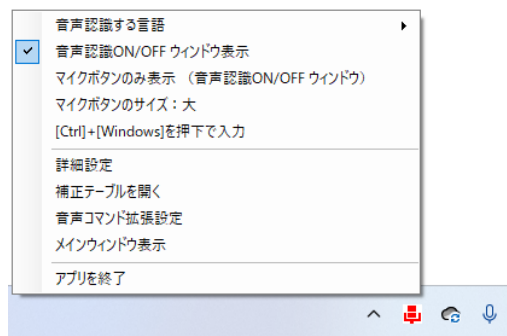




## 2-8. 通知領域のアイコンのメニューと表示/非表示の切り替え

### 2-8-1. 通知領域のアイコンのメニューと機能

通知領域（タスクバー）のアイコンをマウスで右クリックするとメニューを表示することができます。



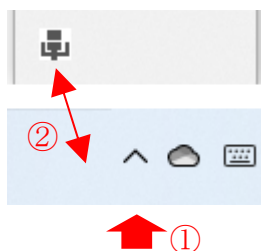
通知領域のアイコンのメニューをマウスでクリックすることで以下の内容が可能になります。

- ・ 音声認識する言語の変更
- ・ 音声認識 ON/OFF ウィンドウの表示/非表示の切り替え
- ・ 音声認識 ON/OFF ウィンドウにマイクボタンのみ表示させること
- ・ 音声認識 ON/OFF ウィンドウのマイクボタンのサイズの変更
- ・ 「[Ctrl]+[Windows]を押下で入力」の設定切り替え
- ・ 詳細設定画面を開く
- ・ 補正テーブルを開く
- ・ 音声コマンド拡張設定画面を開く
- ・ メインウィンドウを表示する
- ・ アプリの終了



ウィンドウはマウスでサイズを変更することもできます。  
左の図はボタンが隠れるようにサイズを変更した例

### 2-8-2. 通知領域のアイコンの表示/非表示の切り替え



マイクのアイコンをドラッグすることで通知領域のアイコンの表示/非表示を切り替えることができます。

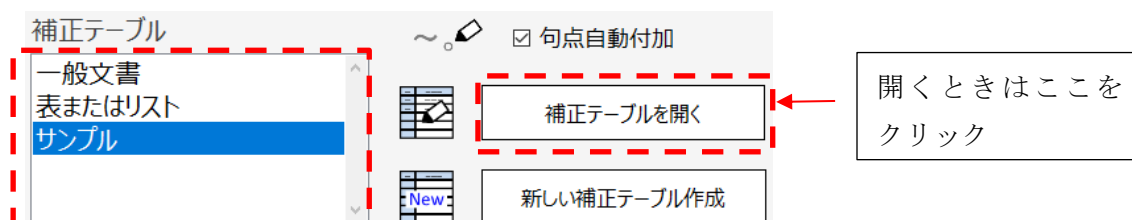
## 2-9. 補正機能について

音声認識結果を補正する事ができます。同音異義語を音声入力する時などにご利用ください。

### 2-9-1. 使用する補正テーブルを選択する

使用する補正テーブルを下図のリストから選択して下さい。

下の図では「サンプル」が使用中の補正テーブルになります。

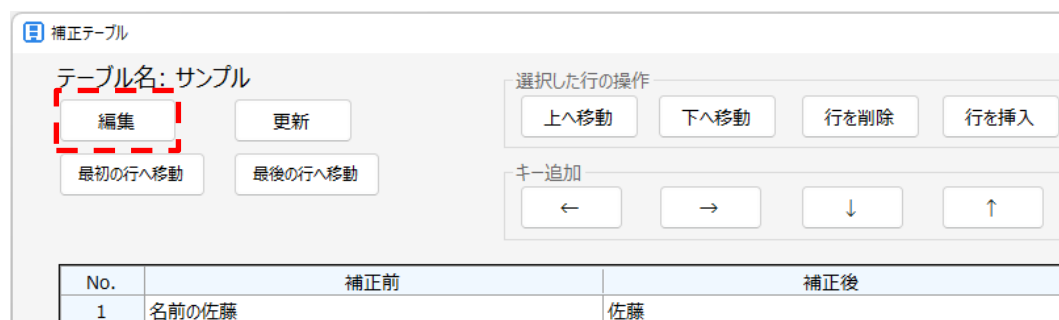


### 2-9-2. 補正テーブルを確認または編集する

開く補正テーブルを選択して[補正テーブルを開く]をクリックしてください。

① 編集する場合は[編集]ボタンをクリックしてください。

- ・補正前：補正対象の言葉を入力してください。
- ・補正後：実際に入力したい内容を入力してください。



※ 行の追加：一番下のセルに入力すると下に行が追加されます。

#### 2-9-2-1. 補正テーブルの設定例

No.	補正前	補正後
1	名前の佐藤	佐藤
2	調味料の砂糖	砂糖
3	左に移動	{←}
4	改行	{改行コード}
5	かっこ	(
6	括弧	(
7	(閉じ	)
8	(とじ	)

- ・ No.1 と No.2 は同音異義語を区別して入力するときのための設定
- ・ No.3 は左カーソルキーを音声で操作（エミュレート）するための設定

- ・No.4 は「改行」という言葉で文書を改行するための設定
- ・No.5 と No.6 は発音「かっこ」で「(」を入力するための設定
- ・No.7 と No.8 は発音「かっことじ」で「)」を入力するための設定

※ {←} は「キー追加」の左矢印ボタン[←]で設定できます。他の方向のカーソルキーについても同様です。

※{改行コード}は[改行コード追加]ボタンから入力できます。また入力先のアプリによっては{改行コード}による改行はできません。

※補正処理は No.の順に処理します。No.7 と No.8 は補正前の設定を「かっことじ」や「括弧閉じ」としても「)」には補正されないためご注意ください。

## 2-9-2-2. 選択した行の操作

- ① 一番左の列をマウスで左クリックまたは左クリックしたままマウスを上下に動かして行を選択してください。

※選択されている行は全ての列のセルの色が青くなります。

テーブル名: サンプル

編集前に戻る 更新

最初の行へ移動 最後の行へ移動

編集中 編集内容は更新後に有効になります

選択した行の操作

上へ移動 下へ移動 行を削除 行を挿入 他のテーブルに出力

行を選択 最初の行 最後の行 選択

キー追加

← → ↓ ↑ Enter Shift+Enter 改行コード

No.	補正前	補正後	備考
1	名前の佐藤	佐藤	苗字の佐藤を入力したい時
2	調味料の砂糖	佐藤	調味料の砂糖を入力したい時
3	左へ移動	{←}	

- ② 操作したい内容のボタンをクリックして下さい。
  - ・[上へ移動]: 選択した行を一つ上に移動します（複数行の同時移動可能）。
  - ・[下へ移動]: 選択した行を一つ下に移動します（複数行の同時移動可能）。
  - ・[行を削除]: 選択している行を削除します（複数行の同時削除可能）。
  - ・[行を挿入]: 選択している位置に行を挿入します。
  - ・[他のテーブルに出力]: 選択している行を他の補正テーブルに出力します（複数行の同時出力可能）。

補正テーブル出力

出力先

一般文書  
表またはリスト

出力 中止

出力先の補正テーブルを選択して[出力]ボタンをクリックして下さい。

- ③ 補正テーブルを編集前の状態に戻す。  
[編集前に戻る]ボタンをクリックして下さい。  
※更新後は更新前の状態には戻りません。

## ④ 編集内容の更新および設定内容の保存

[更新]ボタンをクリックすると編集内容が有効になります。また編集した設定内容を保存します。

※音声認識結果が補正テーブル設定時の認識結果と変わる場合があります。その影響で再度設定が必要になる場合があります。

## 2-9-2-3. 行番号を指定して行を選択する

行を選択

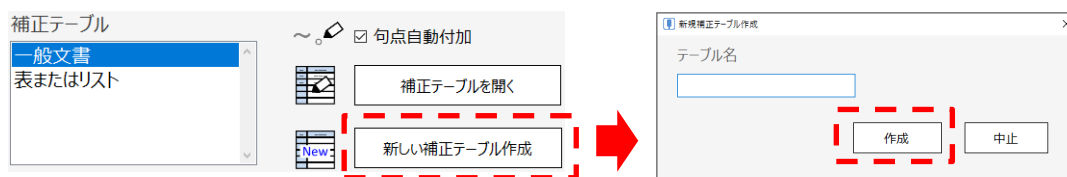
最初の行

最後の行

選択する行数が多い場合などには行番号を指定して行を選択することもできます。

## 2-9-3. 新規補正テーブルの作成

- ① [新しい補正テーブル作成]ボタンをクリックしてください。
- ② テーブル名を入力して[作成]ボタンをクリックしてください。



## 2-9-4. 補正テーブルの削除

「Sokki\_Voice」-「各種ファイル」-「補正テーブル」フォルダの中に補正テーブルのファイルがあります。

対象の補正テーブルのファイルを削除するか、または違うフォルダに移すか、または補正テーブルの編集画面で削除したい補正テーブルの全項目を削除してください。Sokki Voice.exe を次回起動した時から表示されなくなります。



## 2-10. 音声コマンドについて

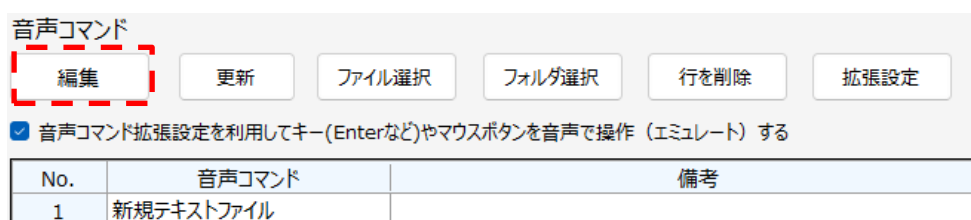
以下の内容が可能になります。

- ・指定したフォルダやファイルを開くこと（実行すること）。
- ・指定した URL の WEB ページをブラウザで開くこと。
- ・音声による音声認識の停止、前回入力した内容の再入力（拡張設定）
- ・音声によるキーボードやマウスボタンの操作（拡張設定）

※周囲の話し声などを認識して音声コマンドが実行される可能性があります。音声コマンドには誤って実行あるいは開いても問題のないファイルやプログラムのパス、ウェブページのアドレス、ショートカットキー等を登録してください。

### 2-10-1. 音声コマンドの編集

#### (a) 音声コマンドの設定



音声コマンド

**編集**    更新    ファイル選択    フォルダ選択    行を削除    拡張設定

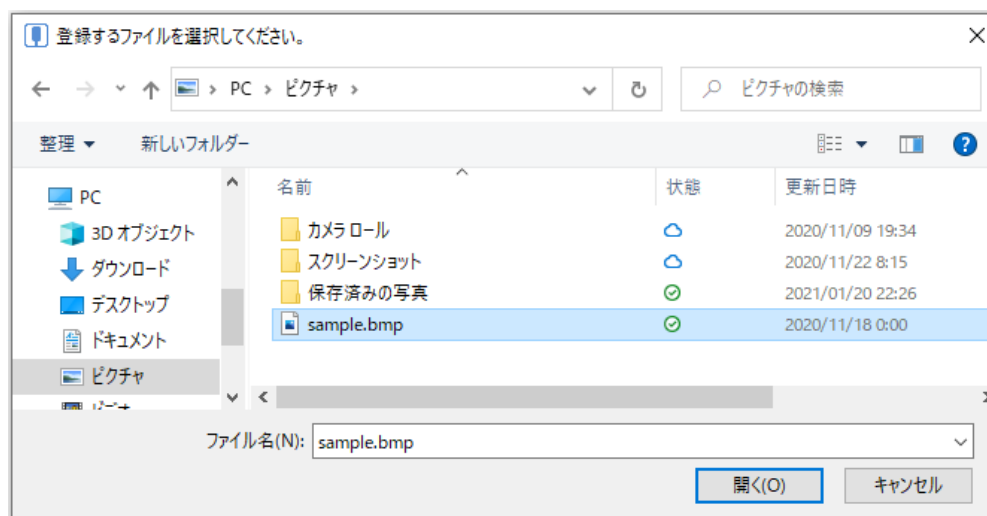
☒ 音声コマンド拡張設定を利用してキー(Enterなど)やマウスボタンを音声で操作（エミュレート）する

No.	音声コマンド	備考
1	新規テキストファイル	

- ① [編集]ボタンをクリックして下さい。
- ② 音声コマンドの列にマイクに話す言葉を音声で入力してください。  
※キーボード入力では漢字とすべきかひらがなとすべきか等予測が困難です。
- ③ 「ファイルパス or フォルダパス or ウェブアドレス」の列に開きたいファイルやフォルダのパスまたはウェブページのアドレスを次の手順で入力して下さい。

#### (イ) ファイルパスを入力する場合

(イ) - 1. [ファイル選択]ボタンをクリックしてください。



(イ) - 2. ファイルが置かれているフォルダを選択してください。

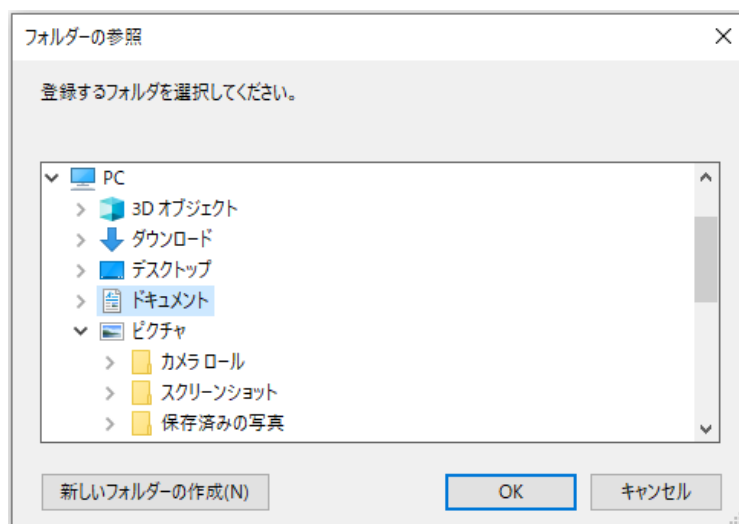
(イ) - 3. 音声コマンドで開きたいファイルを選択してください。

(イ) - 4. [開く]ボタンをクリックしてください。

※Microsoft Word、Microsoft Excel、テキストファイルに関しては、拡張子のみを入力する事で、音声コマンドでそれぞれのアプリを起動できます (.txt はメモ帳)。

(ロ) フォルダパスを入力する場合

(ロ) - 1. [フォルダ選択]ボタンをクリックしてください。

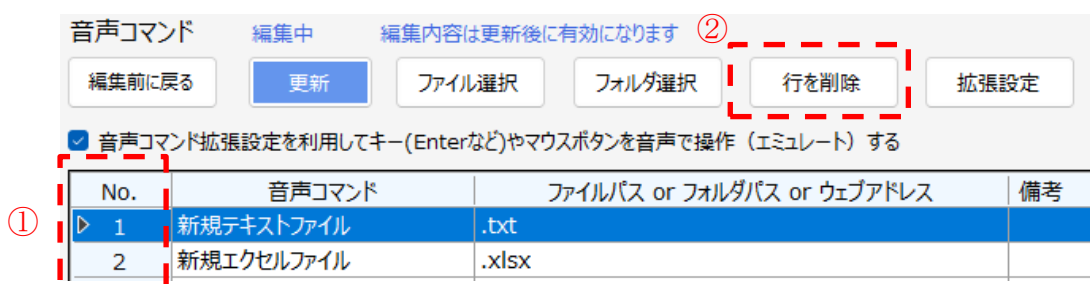


(ロ) - 2. フォルダを選択してください。

(ロ) - 3. [OK]ボタンをクリックしてください。

(ハ) ウェブアドレスは URL をコピーして貼り付けるか直接入力して下さい。

(b) 音声コマンドの削除



① 削除する音声コマンドの行を選択して下さい。

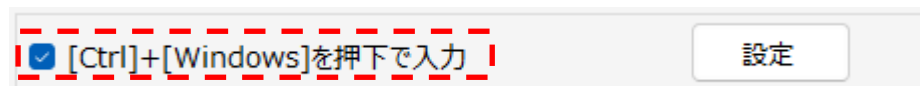
行を選択するには一番左の列をマウスで左クリック、または左クリックしたままマウスを上下に動かします。

② [行を削除]ボタンをクリックして下さい。

- (c) 音声コマンドの更新および設定内容の保存  
[更新]ボタンをクリックして下さい。編集した内容が有効になります。
- (d) 音声コマンドを編集前の状態に戻す  
[編集前に戻る]ボタンをクリックして下さい。  
※更新後は更新前の状態には戻りません。

## 2-10-2. 音声コマンドの実行

音声認識中に「音声コマンド」の列にある言葉をマイクに話して下さい。



上図のチェックが入っている場合は[Ctrl]+ [Windows] を押してから音声コマンドをマイクに話してください。

また、上図のチェックを入れた場合でも上図の[設定]から[Ctrl]+[Windows]を押さなくても音声コマンドを実行できるようにもできます。

※音声コマンドで開いたウィンドウは最前面に表示されない時もあります。

※音声コマンドではバッチファイル（拡張子が「.bat」）は実行できません。

### (a) 音声コマンドの実行状況の確認方法（拡張設定除く）

実行状況に応じて下図の「音声コマンド」の文字の色が変化します。

黒：音声コマンド実行前または音声コマンド実行完了

青：音声コマンドを実行中

赤：「ファイルまたはフォルダが見つからない、またはアクセス出来ない」、あるいはファイルの拡張子が「.bat」



### (b) 音声コマンドが実行されない場合

メモ帳などにカーソルを合わせて対象の音声コマンドをマイクに話して「入力された内容」と「音声コマンド」を比べて下さい。「ひらがな、漢字の違い」などがあると音声コマンドとして実行されません。

※補正テーブルを変更する事でそれまで音声コマンドとして認識されていた音声、音声コマンドとして認識されなくなる事があります。

※音声認識結果が音声コマンド設定時の認識結果と変わる場合があります。その影響で再度設定が必要になる場合があります。

## 2-10-3. 音声コマンド拡張設定の利用方法・設定画面の開き方

- ① 音声コマンド拡張設定を利用してキーやマウスボタンを音声で操作する場合は下記の項目にチェックを入れます。

※チェックを入れない場合は、Sokki Voice の設定を変更するコマンドや{音声認識停止}コマンド、{再入力}コマンドなどが利用できます。

※タブレット PC などマウスが接続されていない状態で、音声でマウスボタンの操作をした場合、前回タップした位置等でマウスボタンの操作が行われます。

- ② 拡張設定画面を開くには[拡張設定]をクリックします。

No.	音声コマンド	備考
1	動作確認チェック表	

## 2-10-4. 拡張設定の編集方法（実行内容をリストから選択する場合）

- ① [編集]をクリックします。  
 ② 「リストから選択」のタブを選択します。  
 ③ 実行する内容をリストから選択します。  
 ④ [入力]をクリックします。

現在の行の「実行する内容」のセルに入力されます。

編集した内容は[更新]ボタンをクリックした後に有効になります。

No.	音声コマンド（実行のために認識させる言葉）	実行する内容 ※画面
1	認識停止	{音声認識停止}

※上図の場合は「認識停止」という言葉で Sokki Voice の音声認識を停止します。

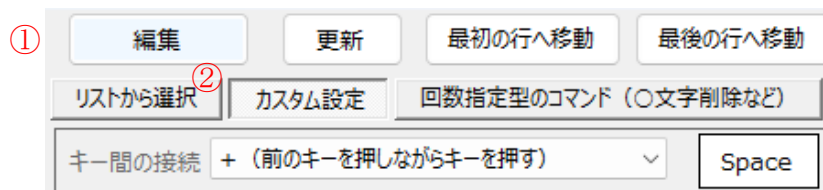
## 2-10-5. 実行する内容を削除する場合

下図の[実行内容クリア]をクリックします。



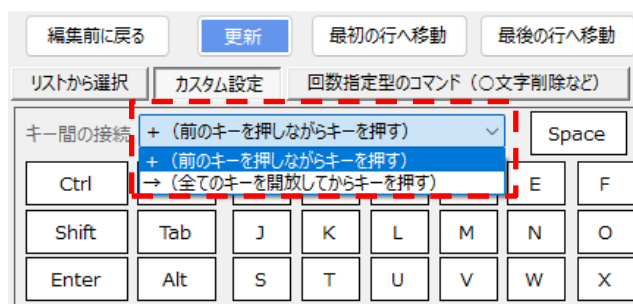
## 2-10-6. 拡張設定の編集方法（カスタム設定）

- ① [編集]をクリックします。
- ② 「カスタム設定」のタブを選択します。

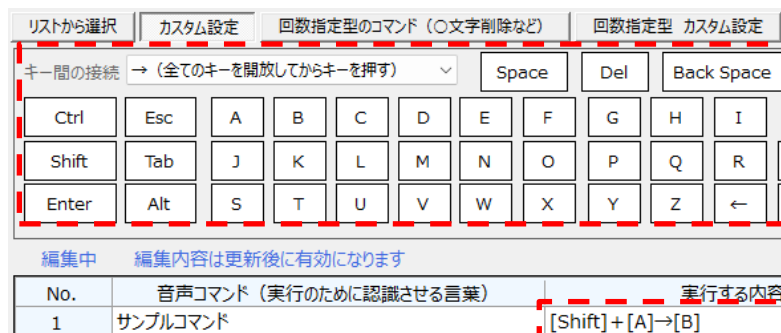


- ③ キーを「同時に押す」か「離してから押す」のか選択します。

- ・ キーを同時に押す場合：  
「+（前のキーを押しながらキーを押す）」を選択します。
- ・ キーを離してから次のキーを押す場合：  
「→（全てのキーを開放してからキーを押す）」を選択します。



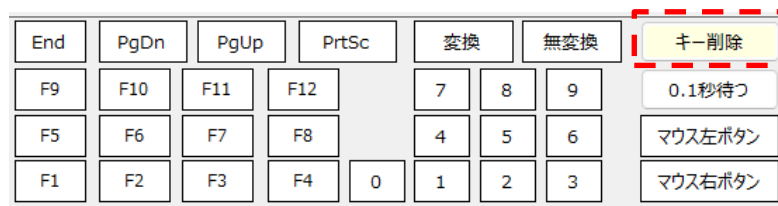
- ④ 音声で操作（エミュレート）したいキーのボタンをクリックします。  
現在の行の「実行する内容」のセルに入力されます。



※上図 No.1 の場合は Shift を押しながら A を押したあと Shift と A を解放してから B を押して B を解放します。

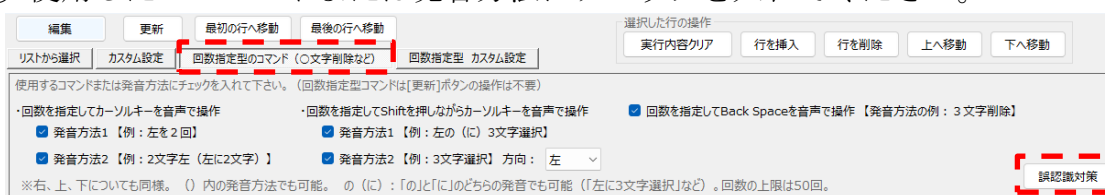
## 2-10-7. キーをひとつずつ削除する方法

下図の[キー削除]をクリックします。



## 2-10-8. 回数指定型コマンドの使用方法

- ① 「回数指定型のコマンド (○文字削除など)」のタブを選択します。
- ② 使用したいコマンドまたは発音方法にチェックを入れてください。

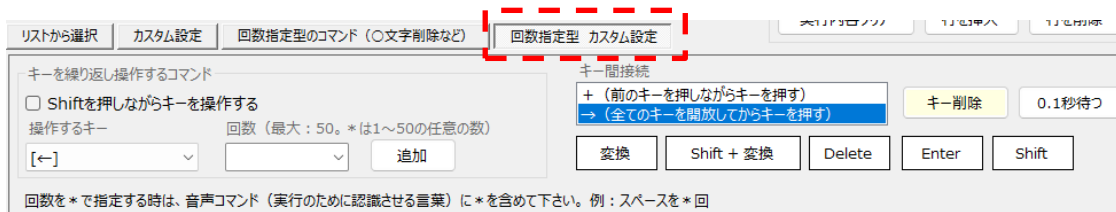


### 2-10-8-1. 回数指定型コマンドの誤認識対策

音声認識が意図した結果にならず回数指定型コマンドが実行できない場合は、上図の[誤認識対策]ボタンから対策することができます。

それでもまだうまく回数指定型コマンドが実行できない場合は、「回数指定型 カスタム設定」を利用してみてください。

## 2-10-9. 回数指定型 カスタム設定



「回数指定型 カスタム設定」のタブから下の表のようなコマンドも設定できます。

No.	音声コマンド (実行のために認識させる言葉)	実行する内容 ※画面上のボタンから設定して下さい
1	* 文字変換	{Shift+[←]×*回}→{0.1秒}→{0.1秒}→[変換]
2	右の* 文字変換	{Shift+[→]×*回}→{0.1秒}→{0.1秒}→[変換]
3	右の* 文字削除	{[Del]×*回}


上の表の No.3 は「右の 4 文字削除」と認識させることでデリートキーの操作 (エミュレート) を 4 回繰り返します。

## 2-11. キーワード入力について

メールアドレスなど音声認識が難しい内容、またインターネットに送信したくない情報をキーワードで音声入力する事ができます。

キーワード入力      編集      編集内容は更新後に有効になります

編集前に戻る      更新      行を削除      Enter      Shift+Enter      改行コード      Back Space

 ☒ 拡張設定を有効にする（同音異義語などをリストから選択して入力する）      拡張設定

No.	キーワード	入力する内容	備考
1	私の住所	〇〇県△△市XXX-Y	

上の例では、「私の住所」とマイクに話すと「〇〇県△△市 XXX-Y」と入力されます。

「〇〇県△△市 XXX-Y」という情報はインターネットには送信されません。

※パスワードなど特に重要な情報を本ソフトウェアで扱う事はおすすめしません。


### 2-11-1. キーワード入力の編集

#### (a) キーワード入力の設定

- ① [編集]ボタンをクリックして下さい。

キーワード入力

**編集**      更新      行を削除      Enter      Shift+Enter      改行コード      Back Space

 ☒ 拡張設定を有効にする（同音異義語などをリストから選択して入力する）      拡張設定

No.	キーワード	備考
1	私の住所	

- ② キーワードの列に、マイクに話す言葉を音声で入力してください。

※キーボード入力では漢字とすべきかひらがなとすべきか等予測が困難です。

- ③ 「入力する内容」の列に実際に入力したい内容を入力して下さい。

※[改行コード追加]ボタンをクリックすると{改行コード}が追加されます。

[Enter]ボタンおよび[Shift+Enter]ボタンについても同様。

## (b) キーワード入力削除

キーワード入力 編集 中 ② 編集内容は更新後に有効になります

☒ 拡張設定を有効にする（同音異義語などをリストから選択して入力する）

No.	キーワード	入力する内容	備考
① 1	私の住所	〇〇県△△市XXX-Y	
2			

- ① 削除するキーワード入力の行を選択して下さい。  
 行を選択するには一番左の列をマウスで左クリック、または左クリックしたままマウスを上下に動かします。  
 ※選択されている行は全ての列のセルの色が青くなります。

- ② [行を削除]ボタンをクリックして下さい。

## (c) キーワード入力の更新および設定内容の保存

[更新]ボタンをクリックして下さい。  
 編集した内容が有効になります。

## (d) キーワード入力を編集前の状態に戻す

[編集前に戻る]ボタンをクリックして下さい。  
 ※更新後は更新前の状態には戻りません。

## 2-11-2. キーワード入力の実行

音声認識中に入力したい場所にカーソルを合わせて「キーワード」の列にある言葉をマイクに話して下さい。

☒ [Ctrl]+[Windows]を押下で入力

※上の図のチェックが入っている場合は[Ctrl]+[Windows]を押してからキーワードをマイクに話してください。  
 また、上図のチェックを入れた場合でも[設定]から[Ctrl]+[Windows]を押さなくてもキーワード入力を実行できるようにもできます。

※音声認識結果がキーワード入力設定時の認識結果と変わる場合があります。その影響で再度設定が必要になる場合があります。

## 2-11-3. キーワード入力拡張設定

下記のチェックを入れると設定済みの拡張設定が有効になります。  
拡張設定を有効にすると同音異義語などをリストから選択して入力することができます。

[拡張設定]ボタンをクリックすると拡張設定の設定画面を開けます。

拡張設定を有効にする (同音異義語などをリストから選択して入力する) !

拡張設定

☒ 同音異義語などのデフォルトリストを使用する

デフォルトリストの検索

デフォルトリスト検索

[実行する条件は?](#)      [うまく実行できない時は?](#)

ユーザー設定

編集      更新      行を削除      行を挿入      上に移動      下に移動      検索

No.	キーワード (入力候補)	グループ名
1		

- ・同音異義語などのデフォルトリストを使用する：
  - 予め設定済みのキーワード入力拡張設定のリストが有効になります。
- ・デフォルトリストの検索：
  - 予め設定済みのキーワード入力拡張設定の検索ができます。
- ・ユーザー設定：
  - 一覧表の編集方法は補正テーブルの編集と同様になります。

この機能がうまく実行できない時は、実際に入力される内容を設定して下さい。

## 2-12. 音声認識結果のログ機能

The screenshot displays the '音声認識' (Voice Recognition) window. At the top, there's a blue header with the title '音声認識'. Below it, a button labeled '一言モード' (One-sentence mode) is visible. Two buttons for starting recognition are present: '「一言モード」で開始 (速度・操作性優先)' and '「標準モード」で開始'. A '音声認識 停止' (Stop voice recognition) button is also shown. The '認識結果' (Recognition result) section displays '今日は2023年5月14日です' (Today is May 14, 2023). At the bottom left, there's a checkbox '認識結果を入力しない' (Do not input recognition result) and a status bar indicating 'Sokki Voice.exeと接続中' (Connected to Sokki Voice.exe). On the right, the '認識結果ログ' (Recognition result log) window is open, showing a log of recognition events: '2023年5月14日14時7分3秒 【一言モードで音声認識開始】 言語：日本語' (Started recognition at 14:07:03 on May 14, 2023, in One-sentence mode, Language: Japanese), '14時7分21秒 今日：2023年5月14日です' (Today: May 14, 2023), and '2023年5月14日14時7分28秒 【音声認識停止】' (Stopped recognition at 14:07:28 on May 14, 2023). Below the log, there are buttons for 'ログをクリップボードへコピー' (Copy log to clipboard) and 'ログをクリア' (Clear log). A note at the bottom right states: '※音声認識中はPCの出力音量が小さくなる場合があります。' (Output volume of PC may decrease during voice recognition).

音声認識した時刻とその結果のログを表示します。

### 2-12-1. 認識結果のログをコピー

[ログをクリップボードへコピー]をクリックしてください。

ログのコピーは、キーボードの[Ctrl] + [V]などで Microsoft Excel やメモ帳などに貼り付けてご利用ください。

### 2-12-2. 認識結果のログをクリア

[ログをクリア]をクリックしてください。

## 2-13. 表示メニューの操作方法

以下の内容が「表示メニュー」から可能になります。

- ・ ウィンドウの表示倍率の設定変更
- ・ ボタンフラットスタイルの変更
- ・ 音声認識オンオフウィンドウにマイクボタンのみ表示するかどうかの切替
- ・ 音声認識オンオフウィンドウのマイクボタンのサイズ変更

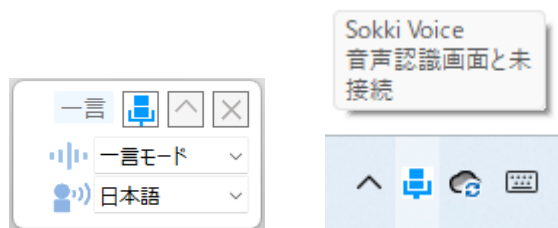


※表示倍率の設定可能な範囲については使用するモニターの解像度によって異なります（モニターの解像度が横 1150 ピクセル以下または縦 646 ピクセル以下の場合は表示倍率の変更はできません）。

※一部のボタンのボタンフラットスタイルは変更することができません。

## 2-14. 音声認識画面と Sokki Voice.exe の接続が途切れた場合

音声認識画面が開いている状態で、Sokki Voice.exe と音声認識画面の接続が途切れた場合は下図のマイクのアイコンは青くなります。



再度 Sokki Voice.exe と音声認識画面を接続するには、

- ①既に開かれている音声認識画面のタブを表示してください。
- ②それでも接続されない時は音声認識画面のボタンから音声認識を開始して下さい。

※①、②を実行しても再度接続されない場合は Sokki Voice.exe が起動しているか確認してください。

[未接続時の音声認識画面]

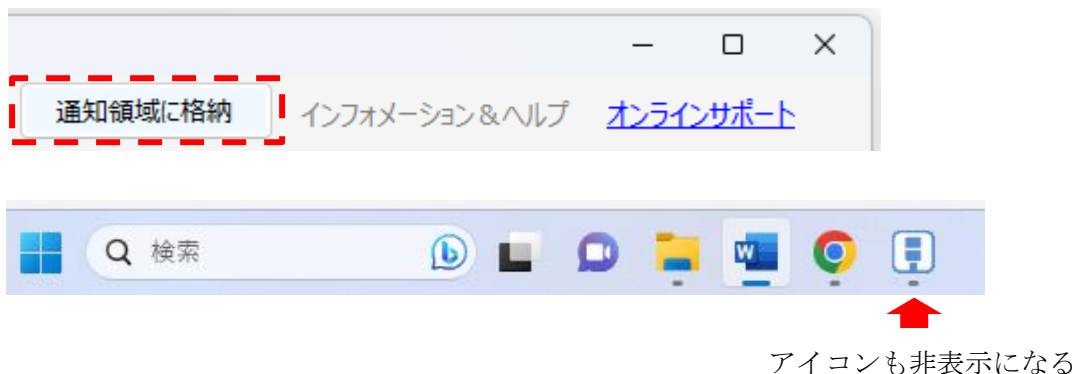




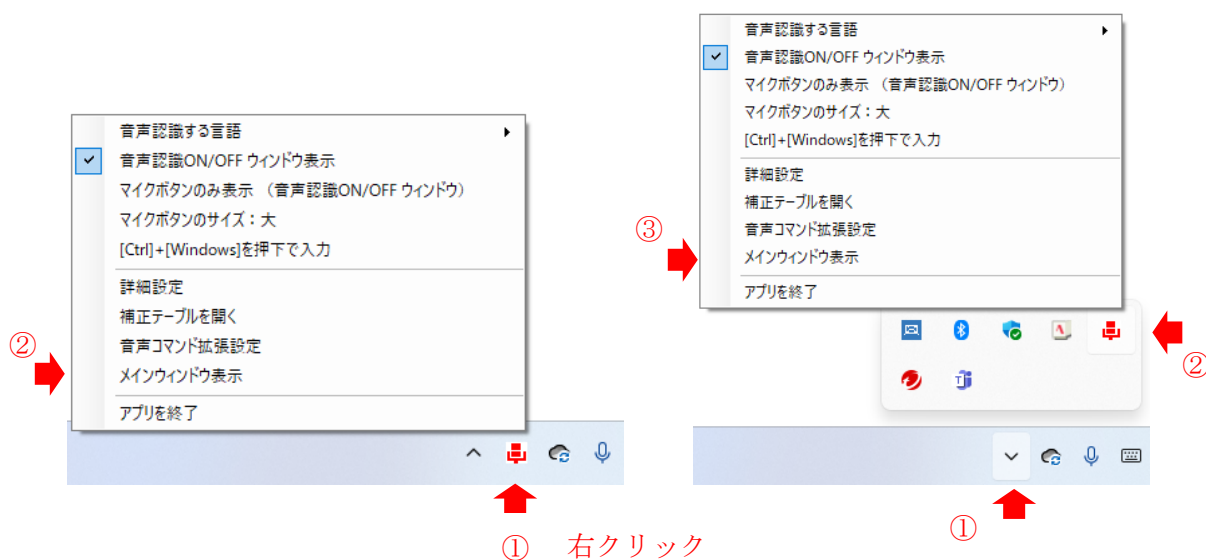
## 2-15. 通知領域に格納（メインウィンドウを非表示にする）

[通知領域に格納]をクリックするとメインウィンドウが非表示になります。またタスクバーに表示される下記のアイコンも非表示になります。

※この機能は[詳細設定]のその他オプションから有効にする事ができます。



メインウィンドウは通知領域の下記のアイコンの右クリックのメニューから表示することができます。



### 3. 旧バージョンからのアップデート方法

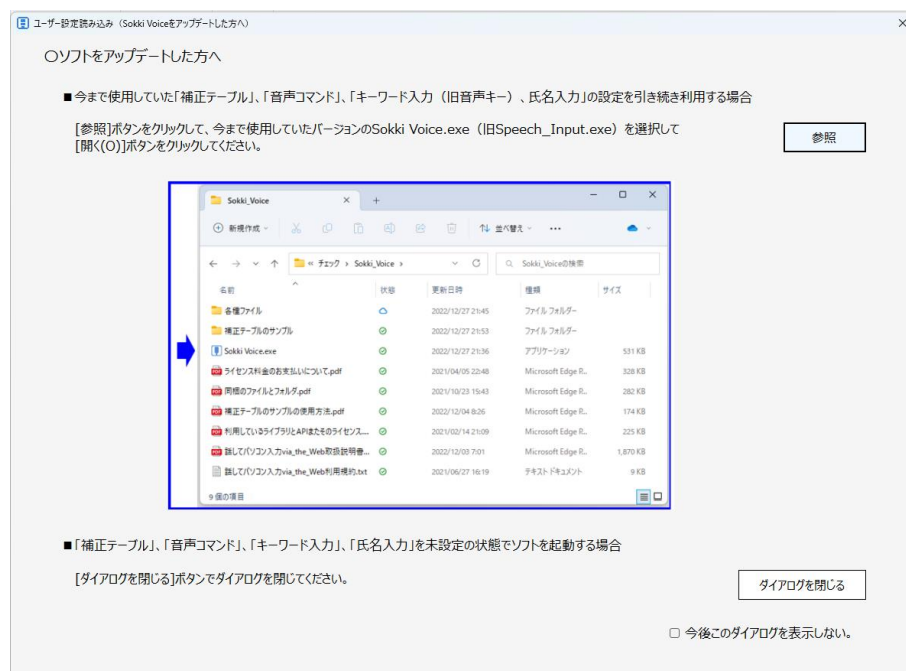
ユーザーが設定した「補正テーブル」、「音声コマンド」、「キーワード入力（音声キー）」、「氏名入力」の設定データは、バージョンごとのフォルダに保存されています。上記の設定データの移行が完了するまでは旧バージョンのフォルダは削除しないで下さい。

※Ver.2.1.0 からは実行ファイル名を Sokki Voice.exe に変更しています。

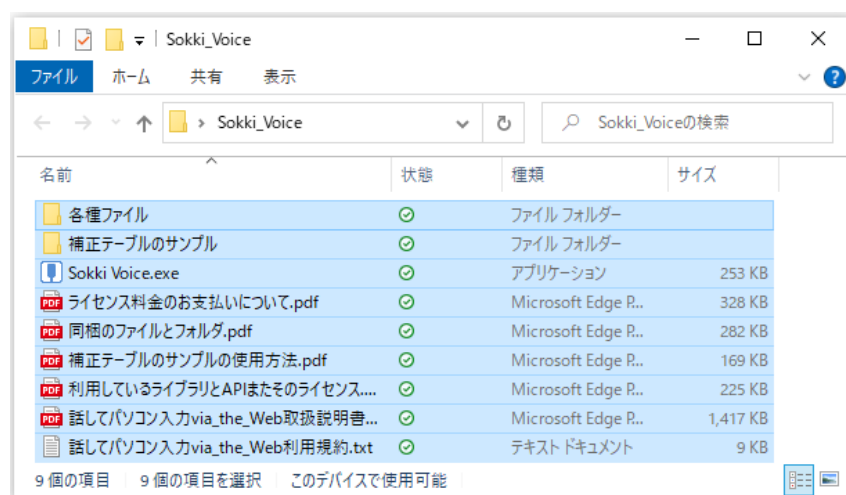
Speech\_Input.exe ではなく Sokki Voice.exe を実行してください。

#### 3-1. 今まで使用していたユーザー設定の移行

(i) ユーザー設定の移行がまだの状態（新バージョンと旧バージョンのフォルダが分けて保存されている状態）で Sokki Voice.exe を実行した場合は、下の図のダイアログが表示されますので案内にしたがって操作してください。



(ii) ダウンロードなどで取得した zip ファイルを展開した後に「Sokki\_Voice」フォルダの中身を全てコピーして、旧バージョンのソフトを上書きした場合は、旧バージョンで使用していた設定を引き続きそのまま利用できます。上記(i)のダイアログは表示しません。



新バージョンのフォルダの中身をすべて選択してコピー  
⇒旧バージョンのフォルダを上書き

※新バージョンのソフトで「補正テーブル」、「音声コマンド」、「キーワード入力（音声キー）」、「氏名入力」を新たに設定した後に旧バージョンのフォルダを上書きした場合は、旧バージョンでの設定内容は新バージョンの設定内容に上書きされます。

※(ii)の場合、新バージョンでは使用しない旧バージョン用のファイルが混在した状態になることがあります（ソフトは正常に動作します）。

設定データを個別に選択して移行する場合は下記の手順をご確認ください。

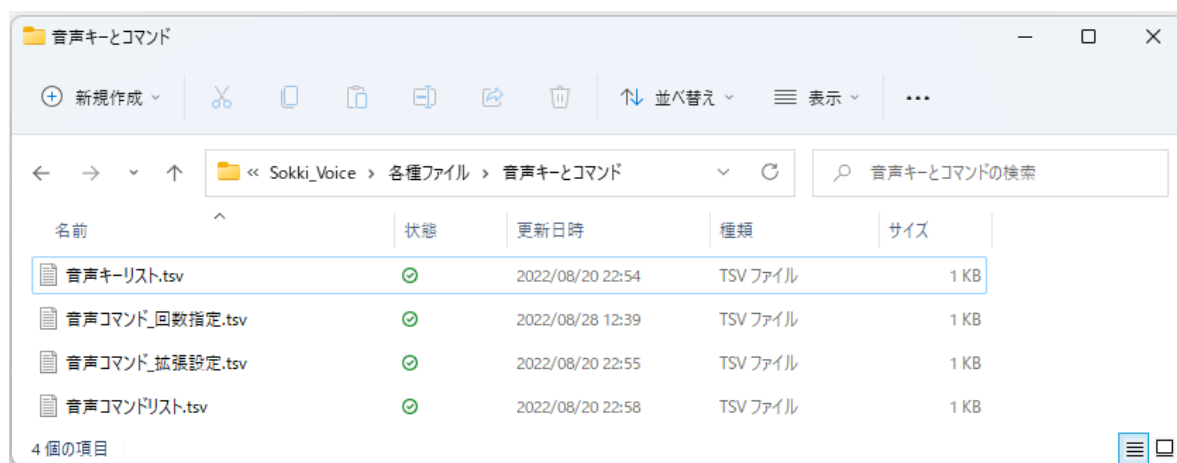
### 3-2. 補正テーブルのファイルの差し替え

補正テーブルはそれぞれのバージョンの「各種ファイル」・「補正テーブル」フォルダにあります。使用したい補正テーブルのファイルを、必要に応じてファイル名が重複しないようにファイル名を変えてから使用するバージョンのフォルダにコピーしてください。



### 3-3. 音声コマンド、キーワード入力（音声キー）のファイルの差し替え

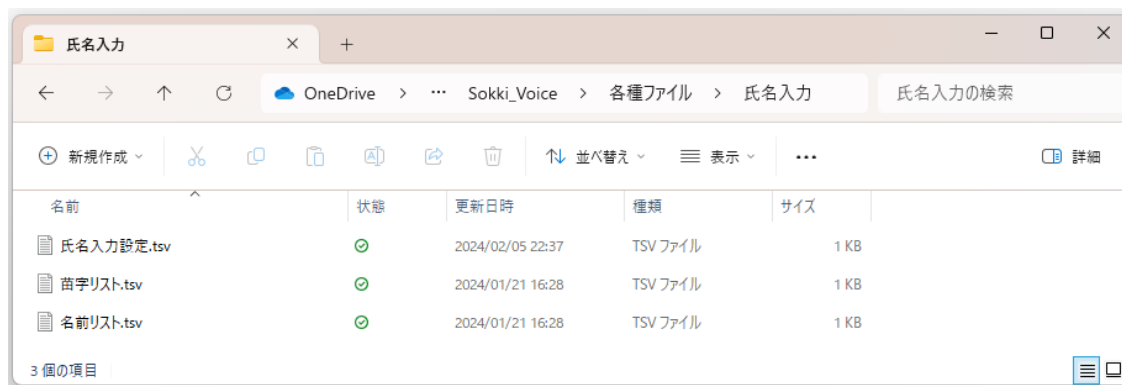
各バージョンの音声コマンドおよびキーワード入力（音声キー）のファイルはそれぞれのバージョンの「各種ファイル」・「音声キーとコマンド」フォルダにあります。使用したいファイルを使用するバージョンのフォルダにコピーしてください。



※Version.2.0 以降では SendKeys は非対応になっています。例えば {UP}はそのまま {UP}と入力されます。

### 3-4. 氏名入力の設定ファイルの差し替え

各バージョンの氏名入力の設定ファイルはそれぞれのバージョンの「各種ファイル」・「氏名入力」フォルダにあります。使用したいファイルを使用するバージョンのフォルダにコピーしてください。



## 4. マイクの設定

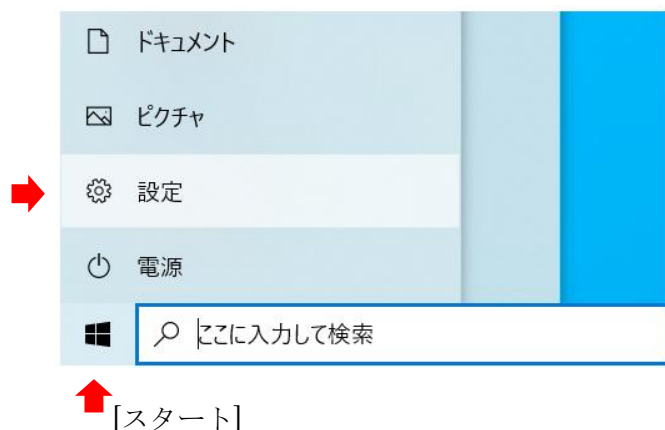
※本章の操作手順は Windows 10 における操作手順になります。

Windows 11 における操作手順はオンラインマニュアルをご確認ください。

### 4-1. 使用するマイクの設定

① PC にマイクを接続して下さい（内蔵型マイクを使用する場合は不要）。

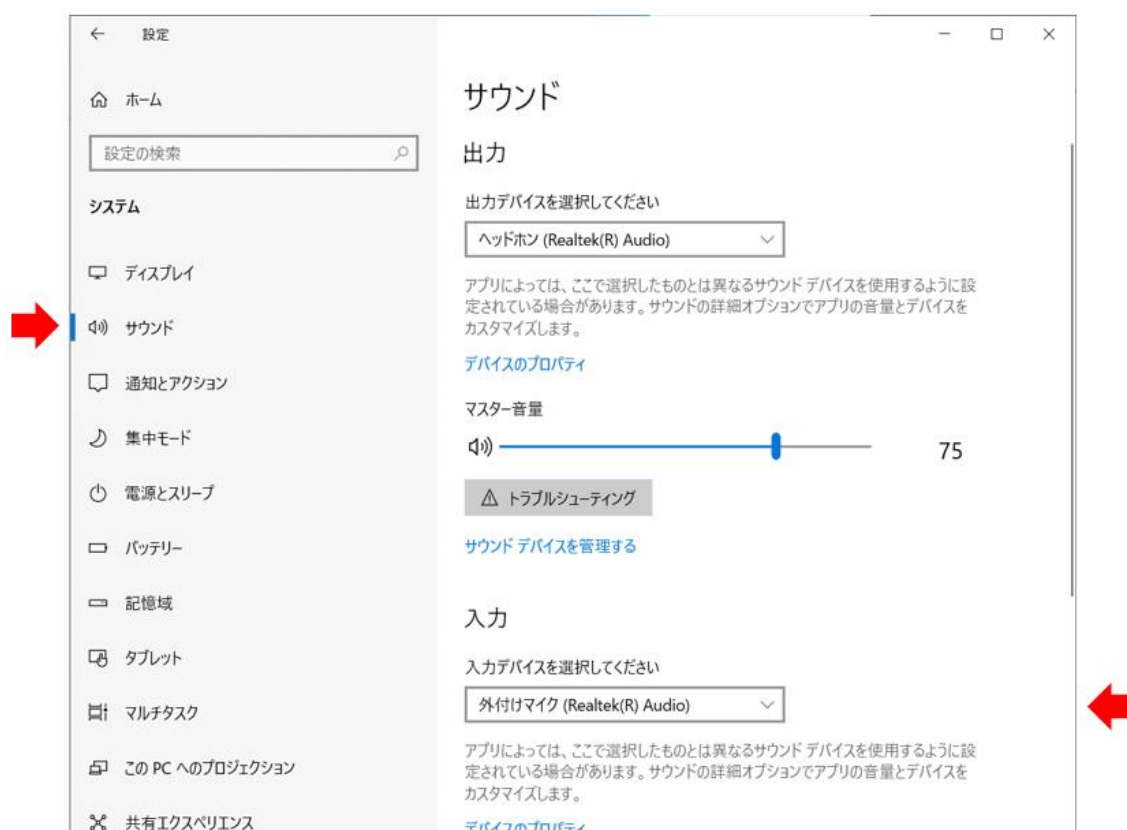
② [スタート] → [設定] の順で選択してください。



③ [システム]を選択してください。



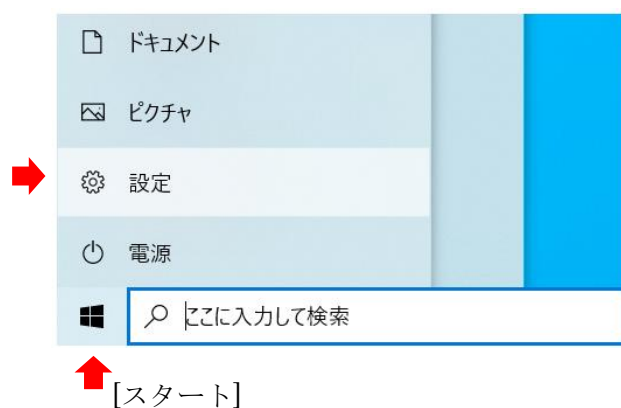
- ④ [サウンド]の[入力]の項目で使用するマイクを選択してください。



- ⑤ テストのためにマイクに何か言葉を話してください。[マイクのテスト]の青いバーが動いている場合はマイクが認識されています。  
 ※必要に応じてマイクの入力の音量を設定してください。  
 同項目の[デバイスのプロパティ]から設定できます。

## 4-2. アプリがマイクへアクセスすることを許可する 必要に応じて以下の手順で設定を行ってください。

- ①[スタート] →[設定]の順で選択してください。



② [プライバシー]を選択してください。



③[マイク] - [デスクトップアプリがマイクにアクセスできるようにする]をオンにします。

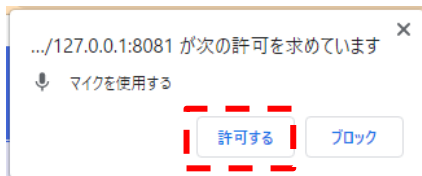




### 4-3. ブラウザのマイク設定

- ① 下図①のどちらかのボタンをクリックして音声認識を開始してください。  
下図②のアイコンが表示されます（Google Chrome：ビデオカメラ、  
Microsoft Edge：マイク）。

「マイクの使用の許可」を聞かれた場合は[許可する]を左クリックして下さい。  
※ここで許可した場合は以下②～⑤の操作は必要ありません。



- ② 下図②のアイコンをマウスで左クリックしてください。
- ③ 「http://127.0.0.1:8081 によるマイクへのアクセスを常に許可する」を選択してください（8081 ではなく 8082～8089 になる場合もあります）。
- ④ 使用するマイクを選択してください。  
※ステレオミキサーを選択するとマイクに話した音声は認識されずに、スピーカーが出力する音声を認識するようになります。  
※ステレオミキサーを使用して音声認識をする場合は、Windows の  
[スタート] → [設定] → [システム] → [サウンド] → [出力] の出力デバイスがスピーカーになっている必要があります。  
※PC によってはステレオミキサーは搭載されていません。
- ⑤ [完了]ボタンをクリックしてください。

※設定の変更がなかなか反映されない場合は一旦音声認識を停止した後再度音声認識を開始してください。



※上の画面は Google Chrome の画面ですが、Microsoft Edge も同様の操作でマイクの設定を行えます。

## 5. アンインストールについて

本ソフトウェアはパソコンにインストールするタイプのソフトウェアではないためアンインストールは不要です。本ソフトウェアが不要になった場合は、必要に応じて以下のファイルおよびフォルダを削除してください。

- ・本ソフトウェアが入っていた zip ファイル（例：sokki\_voice\_3.1.0.zip）
- ・上記 zip ファイルを展開する事でできた「Sokki\_Voice」フォルダとその中のファイルとフォルダ
- ・Sokki Voice.exe へのショートカット

## 6. トラブル時の対応について

ソフトの利用方法についてお困りの時はオンラインサポートの Q&A もあわせてご利用ください。下記リンクはオンラインサポートの Q&A へのリンクになります。

[https://circle-road.com/?page\\_id=77](https://circle-road.com/?page_id=77)

### 6-1. トラブル時の対応一覧

内容	考えられる要因	対応
音声認識されない	マイクの入力音量が 0 もしくは小さい	「4-1. 使用するマイクの設定」を参照してください
同上	マイク設定が正しくない	「4. マイクの設定」を参照して下さい
同上	自動停止などにより音声認識が停止している	音声認識を開始する
同上	音声認識がフリーズしている	音声認識を停止した後、再度音声認識を開始する
同上	マイク等のハードウェアの故障	マイク等が故障していないか確認してください
音声認識はされるが音声入力できない	入力したいアプリがアクティブになっていない、またはカーソルがあっていない	入力したい場所をマウスでクリックして、再度音声入力を試して下さい
同上	音声認識画面の「認識結果を入力しない」にチェックしている。または [Ctrl] + [Windows] を押していない	「認識結果を入力しない」のチェックを外す。また「2-7. 音声入力をする」を参照してください
マイクに話しかけていない内容が入力される	IME の予測入力、入力先アプリの予測入力機能の影響	「6-3. 予測入力機能に対する対応」を参照して下さい

内容	考えられる要因	対応
「補正」、「音声コマンド」、「キーワード入力」がうまく機能しない	設定内容と音声認識結果または補正後の認識結果が食い違っている	上手く機能しない項目をあらためて設定しなおす。
音声コマンドが実行されない	実行されているが対象のウィンドウが最前面に表示されていない	対象のウィンドウが開かれているか再度確認して下さい
同上	処理に時間がかかっている。または音声コマンドの実行に失敗している。	「2-10-2. 音声コマンドの実行」を参照して下さい
音声認識画面が表示されない	IIS 等のサーバーソフトに動作が妨げられている	サーバーソフトを終了してよければ、サーバーソフトを終了する
同上	処理に時間がかかっている	再度[音声認識画面を開く]ボタンをクリックする
Sokki Voice.exe が起動しない、または操作中にエラーが発生する	Microsoft Defender SmartScreen 等に起動が妨げられている	「2-2.Sokki Voice.exe の起動」を参照して下さい
同上	ダイアログで「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と聞かれた時に許可しなかった	左記のダイアログで許可を確認された時は許可して下さい
同上	セキュリティソフト等にブロックされる	セキュリティソフト等に対して本ソフトウェアの動作を許可して下さい
同上	「Sokki_Voice」フォルダおよびその中のフォルダへのアクセスが制限されている	「Sokki_Voice」フォルダの場所をアクセス制限されていない場所に変更する等して下さい
同上	パソコン等の環境が本ソフトウェアの使用に適していない可能性があります	「1-3. ソフトウェアの動作環境」を参照して下さい
音声認識されにくい、音声認識結果が中々確定しない	騒音の影響またはインターネットへの接続が不安定	使用する環境や使用するマイクを変更する

## 6-2. 本ソフトウェアのフォルダまたはファイルを削除した時

補正テーブル、音声コマンドまたはキーワード入力に関するフォルダを誤って削除した場合、フォルダは **Sokki Voice.exe** を次回起動した時に自動で作成されます。

また削除された補正テーブル、音声コマンドおよびキーワード入力（音声キー）は再度設定が必要になります。

## 6-3. 予測入力機能に対する対応

IME の予測入力機能の影響でうまく音声入力できない時は、「詳細設定」で音声入力時に IME の入力モードが「直接入力」に切り替わるように設定してください。

また次に入力先アプリに予測入力機能（Microsoft Excel のオートコンプリートなど）が備わっていて、作業に支障をきたす場合は入力先アプリの予測入力機能を OFF にして下さい。

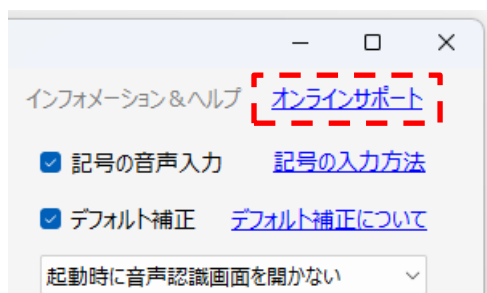
また入力先アプリの予測入力機能を活用したい場合や、入力先アプリの予測入力機能を OFF にできない場合は **Sokki Voice.exe** の「入力後のキー」を「無し」にして使用してみてください。

## 6-4. 補正テーブル、音声コマンド、キーワード入力の書式が崩れた時

補正テーブルのファイル、音声コマンドのファイル、キーワード入力（音声キー）のファイルをテキストエディタで開いて編集する等してファイル（拡張子が「.tsv」）の書式が崩れた場合は、書式の崩れた行（項目）を読み込めないことがあります。その場合は「備考」の列に「読み込めませんでした」と入力されます。読み込めなかった行（項目）は本ソフトウェア上で編集して再度設定しなおす事で、書式は正常に戻ります。

## 7. サポート・問い合わせ先

### 7-1. オンラインサポート



- ・ソフトに関する Q&A
- ・オンラインマニュアル
- ・利用規約の改定のお知らせ、改定後の利用規約
- ・バージョンアップの情報

などが記載されているウェブサイトをひらくことができます。

### 7-2. 問い合わせ先

本ソフトウェアの操作方法また動作についての質問は下記のメールアドレスまでお問い合わせください。ライセンスキーの紛失等についてはライセンスキーを購入したショップ（購入したところ）へお問い合わせください。

- ・問い合わせ先：mk.second222@gmail.com

※また上記アドレスからメールで返信できなかった質問などについては、オンラインサポートにて回答させていただく場合がございます。